■仕様

種類	家庭用全自動電気洗濯機
電源	100V　50-60Hz共用
標準洗濯容量	4.2kg（乾燥布質量）
標準脱水容量	4.2kg（乾燥布質量）
洗濯方式	うず巻式
定格消費電力	260W/360W（50Hz/60Hz）
使用水道水圧	0.03～1MPa（0.3～10kgf/cm²）
標準水量	38ℓ
標準使用水量	76ℓ
外形寸法	幅485mm×奥行き500mm×高さ870mm
質量	26.5kg

- 製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

廃棄時にご注意ください

- 2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ（後日のために、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品番	JW-K42B
販売店名	☎(　　)　―		
お客様ご相談窓口	☎(　　)　―		

ハイアールジャパンセールス株式会社　〒542-0012　大阪市中央区谷町9丁目1番22号NK谷町ビル7F

07.10

Haier
〈ハイアール〉

保証書別添

取扱説明書

カラッと脱水機能付き
ハイアール電気洗濯機
（家庭用）

品番 JW-K42B

- このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「保証書」とともに大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

高濃度洗浄機能搭載

高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引きはがします。（標準コース、お急ぎコースのみ）

- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

も・く・じ

安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※お読みになった後は、次にお使いになる場合にすぐ見られるところへ大切に保管してください。

この家庭用全自動電気洗濯機は、よごれた衣服などを洗う目的や衣服などを脱水する目的に使用するものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。
この用途以外でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

表示について

ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
『警告』『注意』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

	取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。
	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示。

■表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。

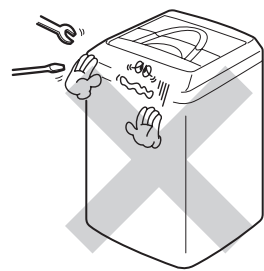
△記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示します。

⃠記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。

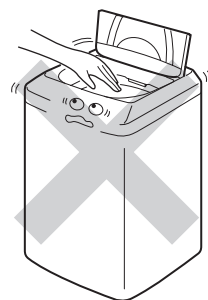
●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）を示します。

⚠警告

改造は絶対しない。また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない

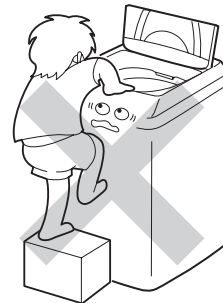
- 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、メーカー指定のお客様修理ご相談窓口にご相談ください。

分解禁止

回転中の洗濯・脱水槽に手を入れない

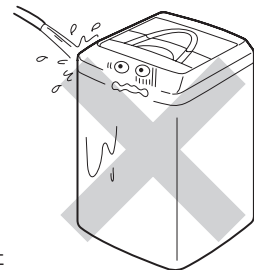
- 洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れないでください。ゆるい回転でも、洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

接触禁止

⚠警告

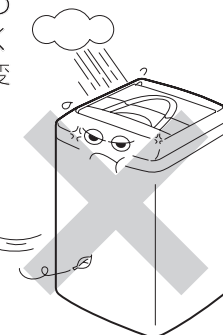
幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない

- 洗濯機の近くに台などを置かないでください。洗濯・脱水槽の中に幼児が落ちてけがをしたり、おぼれたりするおそれがあります。

禁止

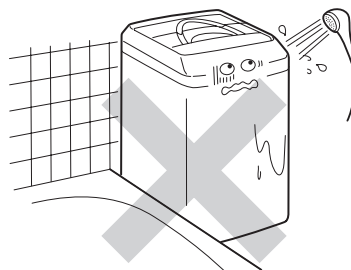
本体各部に直接水をかけない

- ショート・感電のおそれがあります。

水かけ禁止

風雨にさらされるところには、据え付けない

- 風雨にさらされる場所、湿気の多い場所には据え付けないでください。感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

水ぬれ禁止

浴室・シャワー室などには、据え付けない

- 感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

浴室での使用禁止

アースを確実におこなう

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

アース

火気を近付けない

- 火気を近付けたり、火のついたロウソク・たばこ・蚊取り線香・熱いヤカンなどを置かないでください。火災や変形の原因になります。

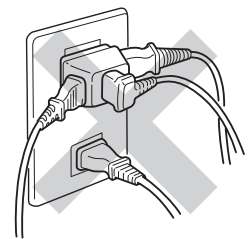
火気禁止

引火物を洗濯・脱水槽に入れない

- 洗濯・脱水槽には絶対に、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどやそれらの付着した洗濯物を入れたり、近付けたりしないでください。爆発や火災のおそれがあります。

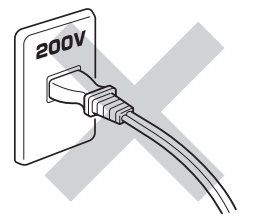
禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用する

- 他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

コンセントを単独で

交流100V以外では、使用しない

- 火災の原因になります。

禁止

電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

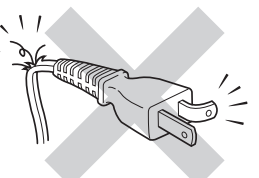
- 電源コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

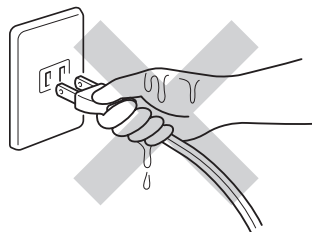
禁止

電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

⚠警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また濡れた手で抜き差ししない
- 感電ややけがをするおそれがあります。

プラグを抜く
ぬれ手禁止

電源プラグを本体で押し付けない
- 傷つき、過熱発火のおそれがあります。

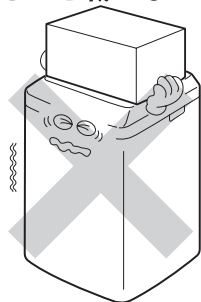
禁止

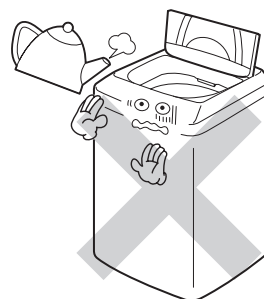
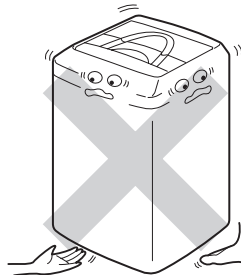
電源プラグの刃及び刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く
- 火災の原因になります。

ホコリを取り除く

⚠注意

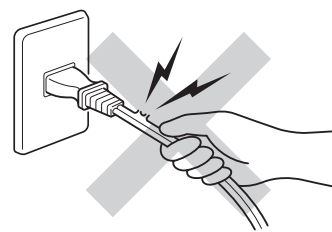
洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せない
- 変形・破損によりけがをするおそれがあります。

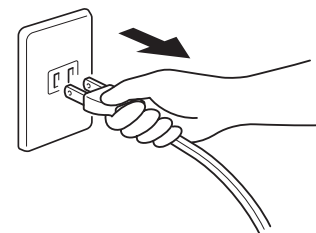
禁止

洗濯時、50℃以上のお湯は使わない
- プラスチック部品の変形や傷みにより、感電や漏電の原因になります。

禁止

運転中、洗濯機の下に手や足を入れない
- 回転部があり、けがをするおそれがあります。

接触禁止
洗濯前は、必ず水栓を開いて給水ホースの接続を確認する
- ネジがゆるんだりしていると、水もれして思わぬ被害を招くことがあります。

指示を守る

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く
- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。

プラグを持つ

長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントより抜く
- ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

防水性のマット・シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・カラッと脱水をしない
- 洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機・かべ・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

(足拭きマットなど固くて厚いもの、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、スキーウエア、自転車・バイク・自動車カバー、寝袋など)

禁止

■使用上のお願い

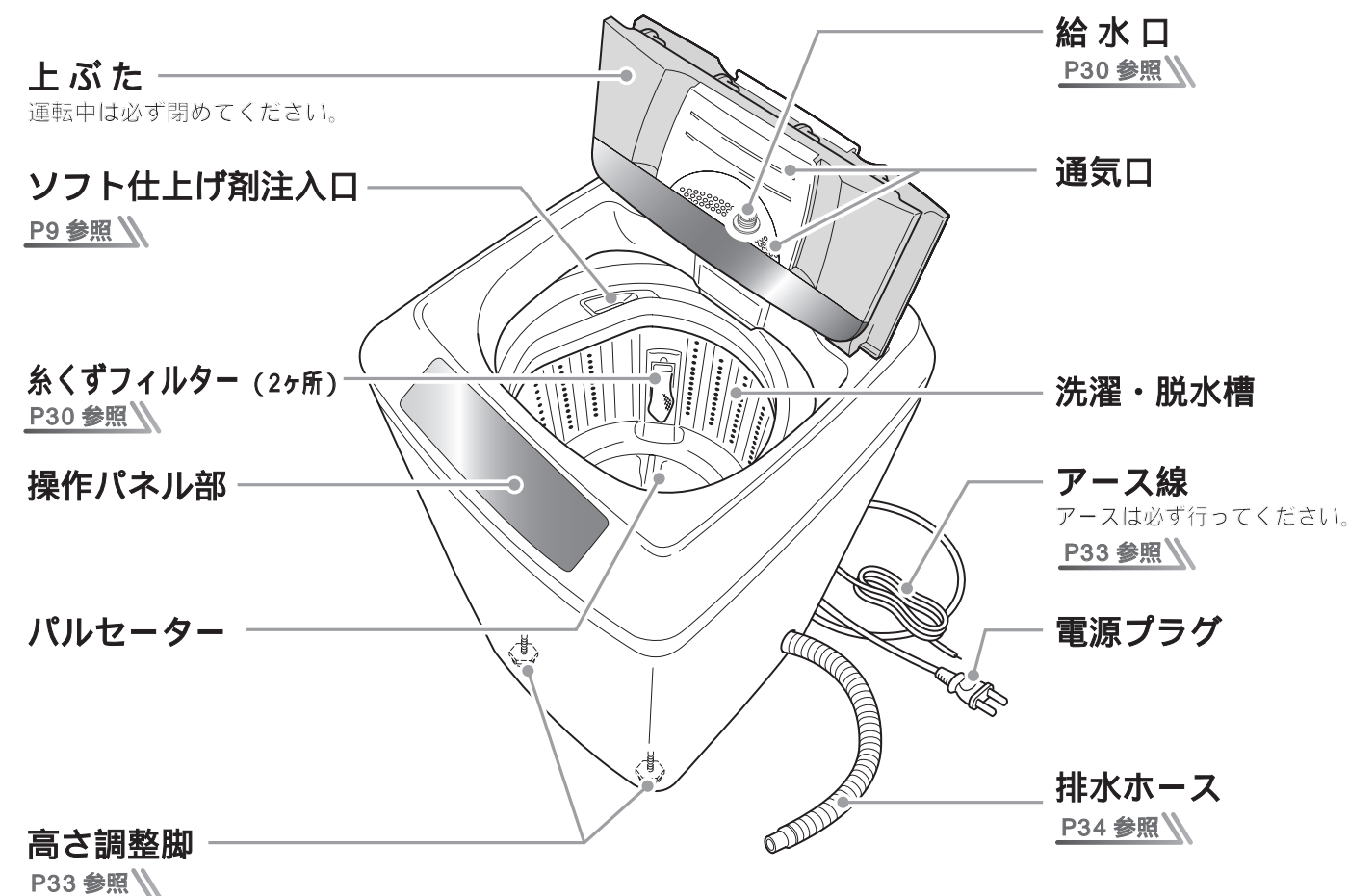
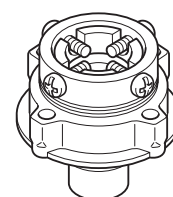
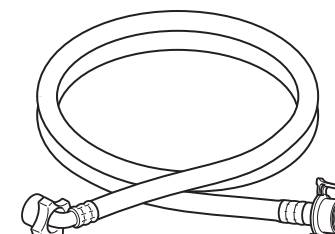
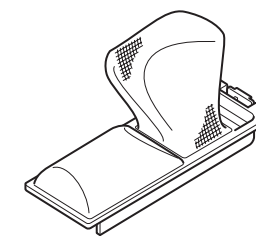
ご使用後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

上ぶたが破損したり、脱水中に上ぶたを開けたときに洗濯・脱水槽が回っている場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。
- けがの原因になります。

雷が鳴り出したら、洗濯機やコンセントにはさわらないでください。
- 感電するおそれがあります。

各部の名称

本体

※図はイメージです。製品とは、若干異なることがあります。

付属品

マジックつぎ手
P35･36 参照

給水ホース
P36 参照

糸くずフィルター 2個
P30 参照

各部の名称（つづき）

操作パネル部

コースボタン

●コースの切り換えをします。

P11～26 参照

コースランプ

●選択されているコースをランプの点灯でお知らせします。

残り時間 / 予約時間 / 内容表示

残り時間

●コース・行程の選択中と運転中は、洗濯終了までの残り時間（分）を表示します。

●『標準』コースの布量検知中は "-- "と表示されます。

予約時間

●予約タイマー運転中は、洗濯終了予定までの時間を表示します。

内容表示

●エラーの内容を表示します。

スタート / 一時停止ボタン

●運転を開始します。

●運転中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、一時停止したところから運転を再開します。

電源（入 / 切）ボタン

●電源を入 / 切します。

■ **オートOFF機能**

●洗濯終了後、自動的に電源が切れます。

●スタートせずに約5分経過すると、自動的に電源が切れます。

毛布 ● ドライ ● 槽洗浄 ● カラッと ●
● 標準 ● お急ぎ ● 念入り ● ソフト
● つけおき ● 洗い ● すすぎ ● 脱水
● 3時間 ● 1時間 ● 30分

残り（分）

予約（時間後）

無段階水位 ● 4 ● 3 ● 2 ● 1

電源 入/切　スタート 一時停止

コース　行程　カラッと　予約　水位

行程ボタン

●行程の切り換えをします。

P26 参照

行程ランプ

●選択されている行程をランプの点灯で、進行中の行程をランプの点滅でお知らせします。

カラッと脱水ボタン

●カラッと脱水時間の切り換えをします。
選択されている時間をランプの点灯でお知らせします。

●時間の経過と共にランプは移動します。

P23・24 参照

予約ボタン

●予約タイマー運転の洗濯終了時間を設定をします。

●1時間単位で、2～24時間後までの設定ができます。

P27・28 参照

水位ボタン

●水位（水量）の切り換えをします。P8 参照

水位ランプ

●選択されている水位をランプの点灯でお知らせします。

●『標準』コースの自動運転時の水位は、無段階に自動設定され、最も近い水位が点灯します。

洗濯前の準備

洗濯機の準備

1 排水ホースを、排水口に差し込む
P34 参照

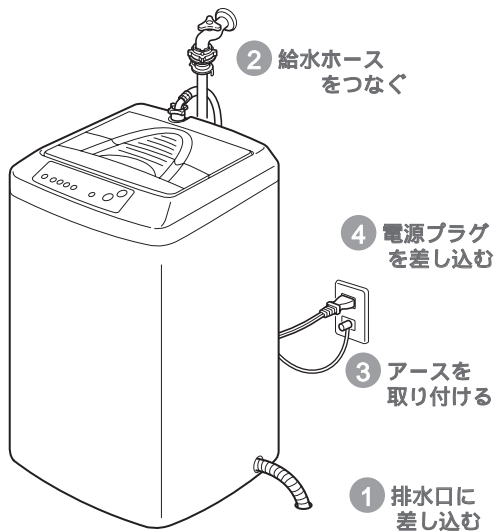
- 据え付け時や初めて使用するとき、排水ホースから水が出ることがありますが、これは工場での性能テストの残水で故障や不良ではありません。

2 給水ホースをつなぐ P35・36 参照

- 水栓を開いて、マジックつぎ手や給水ホースの接続部より水もれがないか確認してください。

3 アースを取り付ける P33 参照

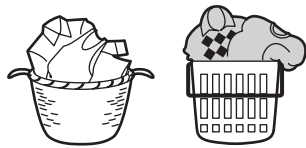
4 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは、根本まで確実に差し込んでください。

衣類の準備

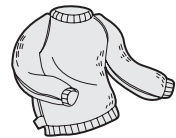
■ポケットに所持品が入っていないか確かめる

- 鍵やコインなどが入っていると衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。必ず取り出してください。

■衣類の絵表示に従って洗う

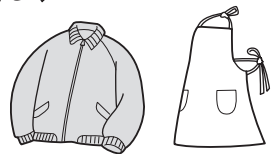
■色物と白物、厚物と薄物を分けて洗う

■大きく軽い洗濯物は、少しずつ洗濯する

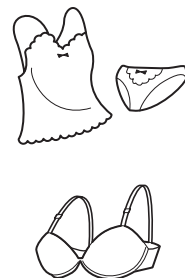
- サイズが大きく軽い洗濯物は水に浮きやすく、一度にたくさん洗うと、給水時に水が飛び散って床をぬらしたり、脱水時にはみ出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■毛玉や糸くずの出るものは、裏返しにする

■ほこりやどろ、砂などがついた服は前もってはたき落とす

- 衣類にどろなどがついたままですと洗濯機の故障の原因になります。

■エプロンなどのひもは結び、ファスナーは閉める

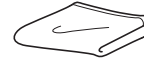
- 衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

■傷みやすい衣類は、洗濯ネットに入れる

- レースのついた（ランジェリー、ナイロンストッキング、化繊の薄物など）傷みやすい衣類は、市販の洗濯ネットに入れてください。
- ワイヤー入りのブラジャーは必ず市販の洗濯ネット（細かい網目）に入れてください。ワイヤーが飛び出して衣類や洗濯機を傷めるおそれがあります。

洗濯量と洗剤量

洗濯物について

- 一度に洗う量は、規格以下の容量で洗ってください。本機の最大容量は、4.2kgです。
- 洗濯物の量が多いときは、無理をせずに何回かに分けて洗ってください。

洗濯物の質量の目安

作業着上・下（混紡 約800g）　パジャマ上・下（木綿 約500g）　Yシャツ（混紡 約200g）　アンダーシャツ（木綿 約130g）　シーツ（木綿 約500g）　バスタオル（木綿 約300g）　ブリーフ（木綿 約50g）　くつ下（混紡 約50g）

お知らせ

- 洗濯容量は、JIS（日本工業規格）規定の布地を使用した場合のものです。
- 洗濯物の厚さ、大きさ、種類により洗える量が変わります。

洗濯量と洗剤量の目安

洗濯量（目安）	水位（水量）	コンパクト洗剤		粉石けんなど	液体洗剤	ソフト仕上げ剤
		水30ℓに対して20gのタイプ	水30ℓに対して15gのタイプ	水30ℓに対して40gのタイプ	水30ℓに対して40mlのタイプ	水30ℓに対して6.6mlのタイプ
2.5kg～4.2kgまで	4（約38ℓ）	約26g	約19g	約51g	約51mℓ	約8.9mℓ
1.5kg～2.5kgまで	3（約31ℓ）	約21g	約16g	約42g	約42mℓ	約6.9mℓ
0.5kg～1.5kgまで	2（約24ℓ）	約16g	約12g	約32g	約32mℓ	約5.3mℓ
0.5kg以下	1（約17ℓ）	約12g	約　9g	約23g	約23mℓ	約3.8mℓ

家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量（水30Lに対し○○g）が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。

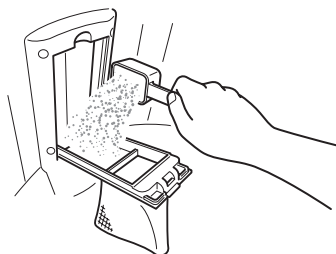
お知らせ

- 計量スプーンのついていない洗剤は、上の表を参考にしてください。計量スプーンの大きさは、洗剤メーカーや銘柄によって異なります。計量スプーン1杯が約37g以外の場合は、製品の水量表示に合わせて洗剤量を計算し、ご使用ください。
- 汚れが多い場合は、洗剤量を調整してください。
- 洗剤は入れ過ぎないようにしてください。すすぎ不十分になり、衣類に残ったり変色の原因になります。特に軽い汚れのときは、液体洗剤では泡が多くなりますので、洗剤を入れ過ぎないようにご注意ください。（軽い汚れとは、汗やほこりの様な脂分をほとんど含まない汚れのことです。）

洗剤について

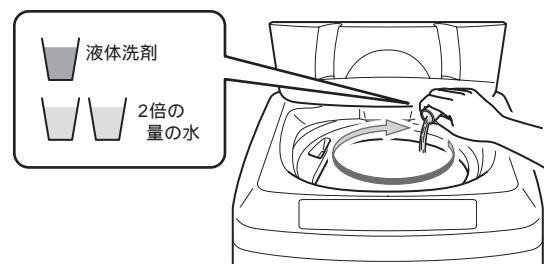
洗 剤

■ 粉末洗剤

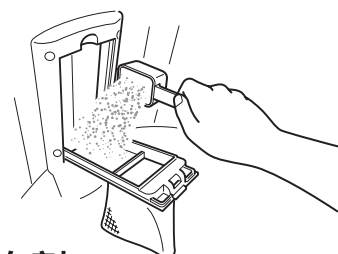
洗剤投入ケースを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

- 洗剤投入ケースが濡れている場合は、よく拭いてから洗剤を入れてください。
- 粉石けんは、洗剤投入ケースに入れないでください。P10 参照

■ 液体洗剤

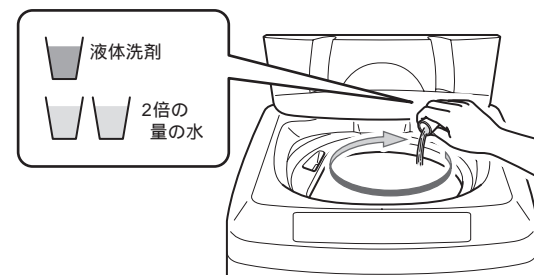
薄めて洗濯・脱水槽に流し込む

- 2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。

漂白剤

■ 粉末漂白剤

洗剤と一緒に洗剤投入口に入れる

■ 液体漂白剤

薄めて洗濯・脱水槽に流し込む

- 2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。

ご注意

色物には、色物専用の漂白剤を使用してください。

塩素系の漂白剤は、直接洗濯物にかけないでください。

- 変色など洗濯物を傷める原因になります。

ソフト仕上げ剤

ソフト仕上げ剤投入口に少しずつ流し込む

※ソフト仕上げ剤は最後のすすぎのときに自動的に投入されます。

- ソフト仕上げ剤は、2回目のすすぎのときに自動的に投入されます。
- 脱水中に一時停止はしないでください。ソフト仕上げ剤の投入時期が早まり、有効に働きません。
- ソフト仕上げ剤を長時間（約12時間以上）入れたままにしないでください。固まってしまうことがあります。
- 濃縮タイプは固まるおそれがあるため、２倍の量に薄めてからご使用ください。

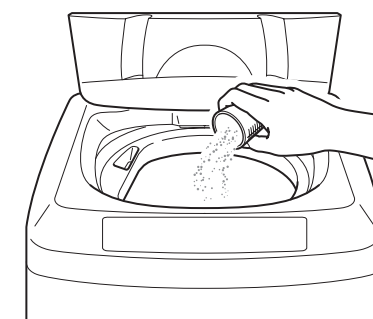
- ソフト仕上げ剤投入口はいつも同じ場所にあるとはかぎりません。入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。

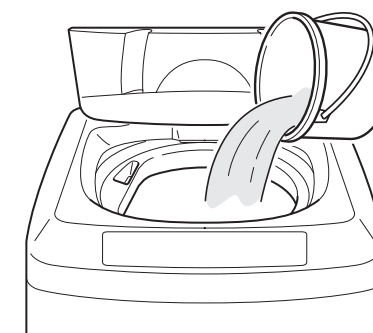
粉石けんについて

粉石けんを使うには

溶け残りを防ぐため、粉石けんはあらかじめよく溶かしてからお使いください。

洗濯機で直接溶かす場合

1. 電源を入れ『水位1』に設定し、運転（給水）する
2. 注水が終わったら、粉石けんを入れて運転する
3. 約1分程度運転したら運転を停止し、電源を入れ直す
4. 洗濯物を入れ、上ぶたを閉める
5. お好みのコースにて洗濯する

溶けにくい場合

1. バケツに30℃前後のぬるま湯を約5ℓ用意する
2. よくかき回しながら、粉石けんを少しずつ入れる
   - 粉石けんが残らないように、よくかき混ぜてください。
3. 洗濯物を入れ、上ぶたを閉める
4. コースを選択し、スタートボタンを押す
5. 給水が始まったら一時停止して、溶かした粉石けんを入れる
6. スタートボタンを押して運転を再開する

ご注意

粉石けんを使用した場合は、十分にすすぎを行ってください。

- 粉石けんは合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすく、黄ばみやにおいの原因になります。

粉石けんは入れすぎないようにご注意ください。

- 粉石けんの使用量が多すぎたり水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯・脱水槽に付着した後にはがれて浮き上がり、洗濯物を汚すことがあります。

洗濯のしかた

各コースについて

コース	洗濯容量	おすすめの洗濯物の種類
標準	～4.2kg	ふだんの洗濯に… P12 参照
お急ぎ	～1.5kg	汚れの少ないものを、手早く洗いたいときに… P13 参照
念入り	～4.2kg	ジーンズなどの厚手の衣類を洗うときに… P14 参照
ソフト	～2.5kg	大切（デリケート）な衣類などを洗うときに… P15 参照
毛布	P16・17参照	毛布など大物を洗うときに… P16・17 参照
ドライ	1.0kg	ドライマーク衣類などを洗うときに… P18～20 参照
槽洗浄	―	洗濯・脱水槽の定期的なお手入れに… P31 参照
カラッと脱水	～2.0kg	室内干しなど干し時間を短縮したいときに… P21～25 参照

■ 各コースの行程と洗濯時間の目安（手動設定含まず）

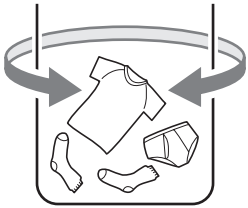
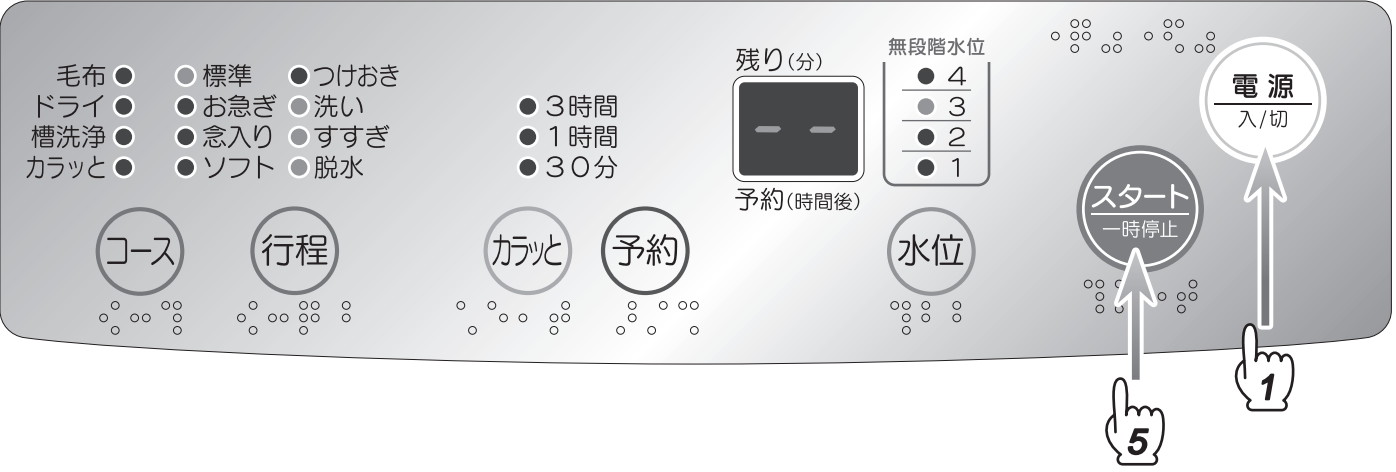
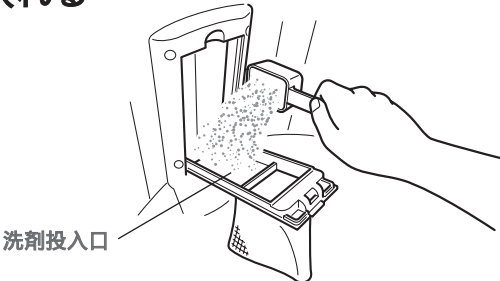
コース	水位	洗い	すすぎ	脱水	所要時間
標準	2～4 無段階自動設定	9～12分 の自動設定	注水すすぎ 1回 ＋ ためすすぎ 1回	6分	28～41分
お急ぎ	1（17ℓ）	3分	ためすすぎ 1回	2分	12分
念入り	3（31ℓ）	20分	ためすすぎ 2回	7分	58分
ソフト	3（31ℓ）	5分	ためすすぎ 2回	4分	30分
毛布	4（38ℓ）	12分	ためすすぎ 2回	6分	54分
ドライ	4（38ℓ）	4分	ためすすぎ 2回	2分	30分
槽洗浄	4（38ℓ）	11時間	ためすすぎ 1回	32分	12時間
カラッと脱水	―	―	―	30分	30分

- 所要時間は、水道水圧・排水条件により変わります。表は、給水量が毎分15ℓのときの目安です。
- 洗濯・脱水槽にあらかじめ水があるときや、水位の設定を変更したときは、所要時間が変わる場合があります。

布量検知（ファジープログラム）

『標準』コースを選択した場合は、運転開始後にファジープログラムが作動し、布量を自動検知して、「水位」「洗い時間」を自動設定します。

お知らせ

- 『標準』コース自動運転時の水位は、無段階に自動設定されます。
- 洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、布量を検知できません。この場合、水位は「3」と表示されます。洗濯量に応じた水位を設定してください。 P8 参照
- 濡れている洗濯物を入れた場合は、水位が高く設定されることがあります。洗濯物に応じた水位を設定してください。 P8 参照

標準コース　洗濯容量　～4.2kgまで

1 水栓を開き、を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

- 液体洗剤を使う場合は、2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。 P9 参照

3 洗濯物を入れる

4 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。 P9 参照

5 ふたを閉めを押す

- 運転を開始します。
- 布量を自動検知して、水位（洗剤量の目安）を自動的に表示します。（水位1は、手動で設定してください。）

6 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

高濃度洗浄機能

給水中に高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引きはがします。（標準コース、お急ぎコースのみ）

お願い

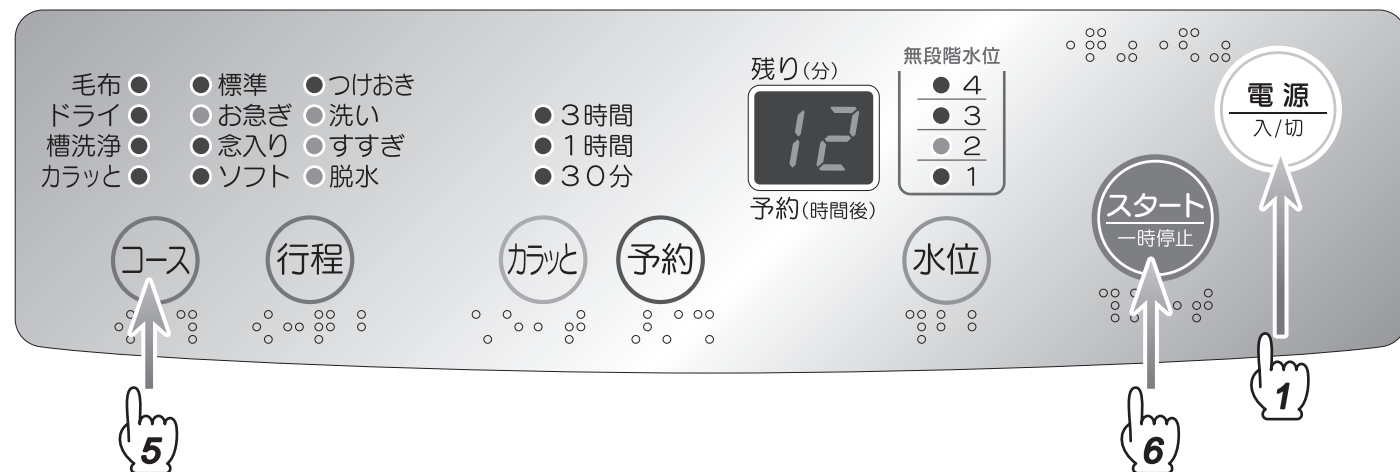
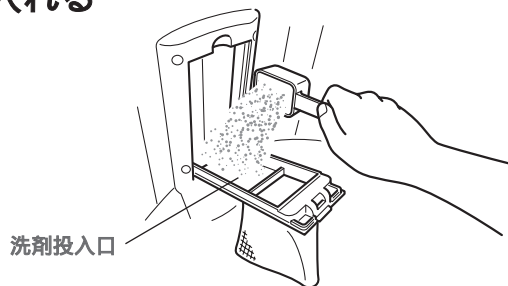
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

洗濯のしかた（つづき）

お急ぎコース　洗濯容量　～1.5kgまで

1 水栓を開き、電源 入/切 を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

- 液体洗剤を使う場合は、2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。P9 参照

3 洗濯物を入れる

4 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9 参照

5 コース を押して『お急ぎ』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

高濃度洗浄機能

給水中に高濃度洗浄液から洗い始め、繊維のすみずみまで洗剤を浸透させ、汚れを芯から引きはがします。（標準コース、お急ぎコースのみ）

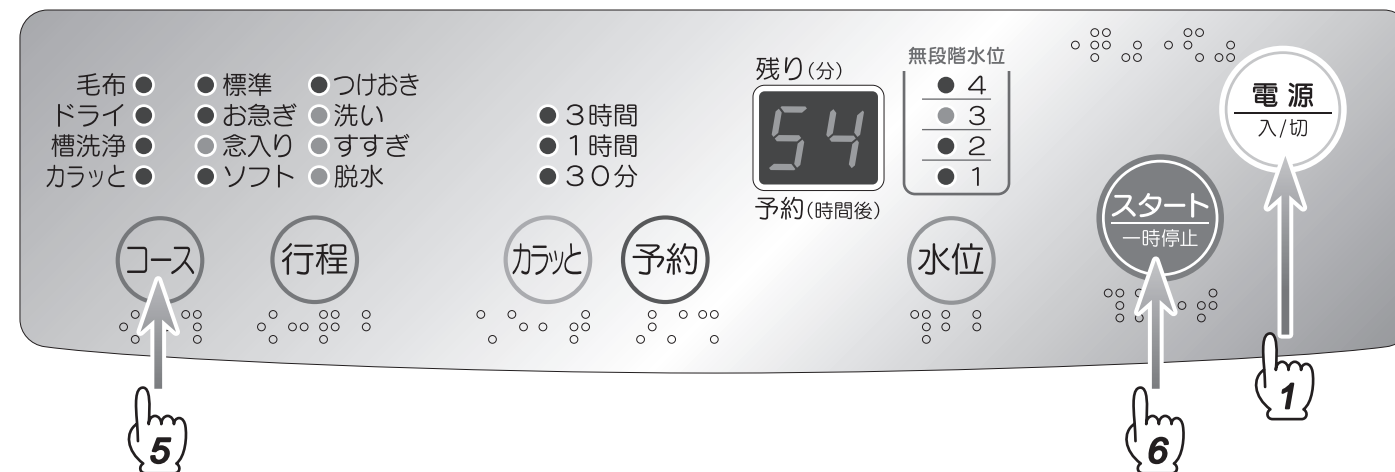
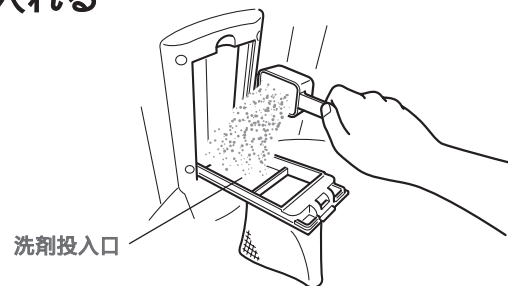
お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

念入りコース　洗濯容量　～4.2kgまで

1 水栓を開き、 を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

- 液体洗剤を使う場合は、2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。P9 参照

3 洗濯物を入れる

4 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9 参照

5 コース を押して『念入り』を選ぶ

6 ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7 運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

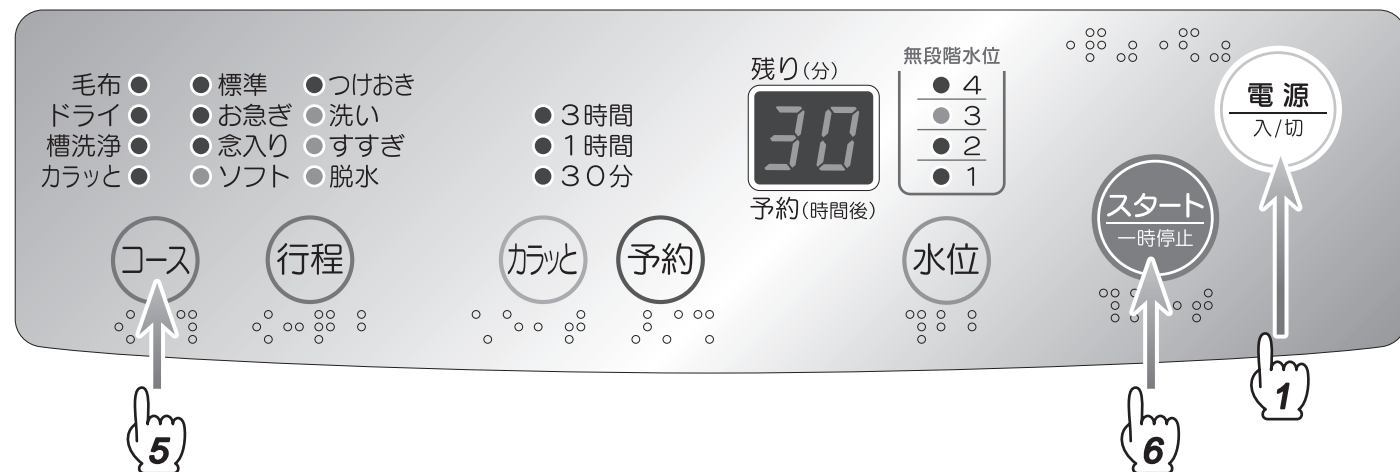
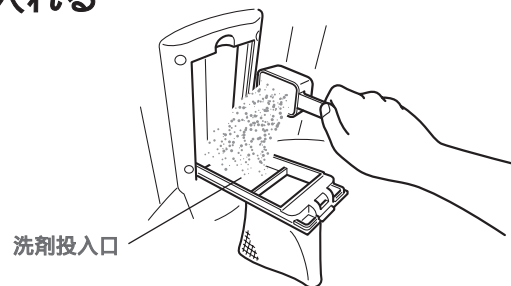
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

ソフトコース　洗濯容量　～2.5kgまで

表示のある衣類は洗えません。

1　水栓を開き、（電源 入/切）を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2　ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

- 液体洗剤を使う場合は、2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。P9 参照

3　洗濯物を入れる

4　ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9 参照

5　（コース）を押して『ソフト』を選ぶ

6　ふたを閉め を押す

- 運転を開始します。

7　運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

毛布コース　洗濯容量　毛布 ～2.1kgまで　綿毛布 ～3.0kgまで

毛布、夏掛けふとん、シーツ、カーテンなど大物を洗うことができます。

■洗濯できる毛布

（手洗イ 30）表示のある綿毛布およびアクリル、またはポリエステル100%のマイヤー・タフト毛布

- 綿毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………1.5kg以下のもの2枚
- マイヤー・タフト毛布
  大きさ……140cm×200cm以下
  質量………2.1kg以下のもの

ご注意

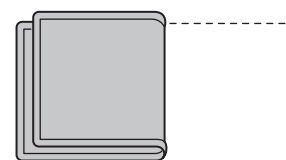
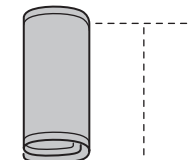
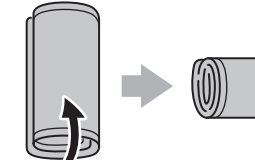
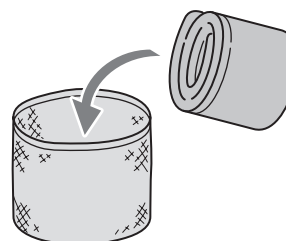
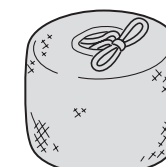
電気毛布は、洗わないでください。

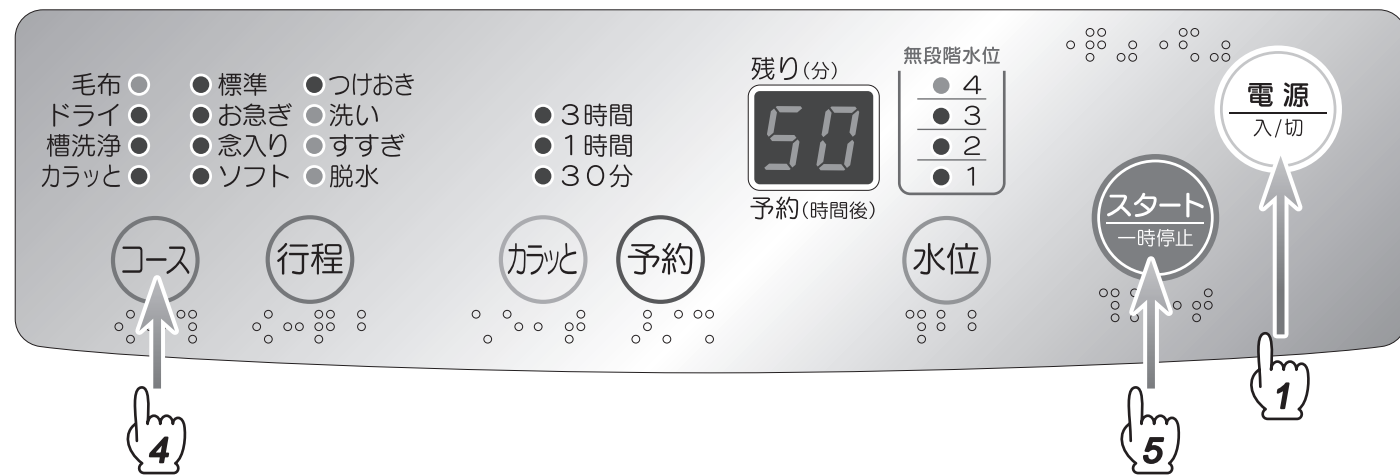
- 洗える電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従ってください。

準備　洗濯物や洗濯機を傷めないために正しく準備してください。

❶ 長い方を2つ折りにする
- 綿毛布を2枚以上入れる場合は、重ねて折りたたんでください。

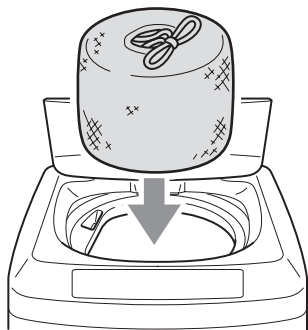
❷ さらに同じ方向に、3つ折りにする

❸ 巻く

❹ フチのある方を下にして、洗濯ネット（市販品）に入れる

❺ 洗濯ネットのひもを固く結びリボン結びにする
- リボン部は洗濯ネットと毛布の間にはさみ込んでください。

洗濯のしかた（つづき）

毛布コース　つづき

1 水栓を開き、を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2 準備した毛布を入れる

- 洗濯ネットの口側が上になるように、洗濯・脱水槽に入れてください。

3 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。 P9 参照

4 コースを押して『毛布』を選ぶ

5 を押す

6 給水が始まったら液体洗剤を入れふたを閉める

- 2倍の量の水で薄め、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。 P9 参照

粉末洗剤を使う場合は…

- 約5Lのぬるま湯(約30℃)であらかじめ十分に溶かしてから入れてください。 P10 参照

7 運転終了

- 必ず、糸くずフィルターを掃除してください。

お願い

毛布やシーツなど大物を洗う場合は、必ず市販のネットに入れてください。
また、毛足の長さや生地の厚みにより、ネットに入らない場合は洗濯できません。

- ネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯・脱水槽から飛び出したり、脱水中に異常振動し、洗濯機・壁・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。

一言メモ！ 毛布洗いのポイント

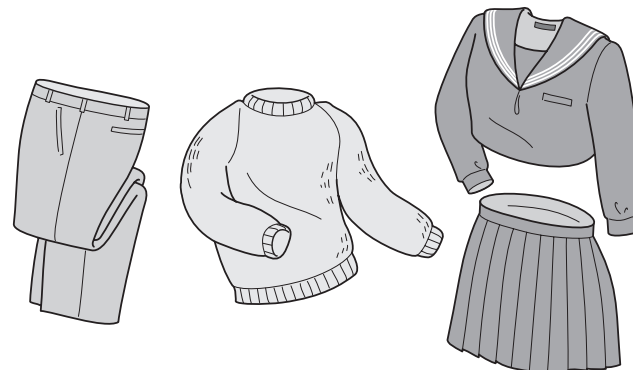
- 毛布のフチなど汚れのひどい部分は、あらかじめ手でもみ洗いをしましょう。
- 洗剤を入れすぎないようにしましょう。
- 水温が低いときは、ぬるま湯(約30℃)で洗うと汚れ落ちがよくなります。

ドライコース　洗濯容量　～1.0kgまで

ドライコースは多めの水量でデリケートな衣類やドライマーク衣類をやさしく洗うコースです。

洗濯できるもの

（手洗イ30）や（ドライ）表示のあるもの

- 学生服、セーラー服
- スラックス、スカート
- ブラウス、シャツ、ランジェリー（絹、麻）
- セーター、カーディガン（ウール、アンゴラ、カシミヤ）

洗濯できないもの

- 皮革製品、皮革装飾のあるもの
- 羽、毛皮などの装飾のあるもの
- 絹、レーヨン、キュプラおよびその混紡品（裏地として使用しているものも不可）
- スーツ、コート、ネクタイなどの型くずれしやすいもの
- コーティング加工、樹脂加工（接着剤を使用したもの）、エンボス加工を施したもの
- ちりめんなどの強くよじった糸（強撚糸）を使用したもの
- ベルベットなどのパイル地、別珍など
- 防水加工品（スキーウエアなど）
- 色落ちしやすいもの
- 取扱い絵表示および素材表示のないもの

洗剤について

（ドライ）表示の衣類

- ドライマーク衣類専用の液体洗剤を使用してください。

（手洗イ30）表示のある衣類

- ドライマーク衣類専用の液体洗剤以外に液体中性洗剤も使用できます。

ご注意

漂白剤は使用しないでください。

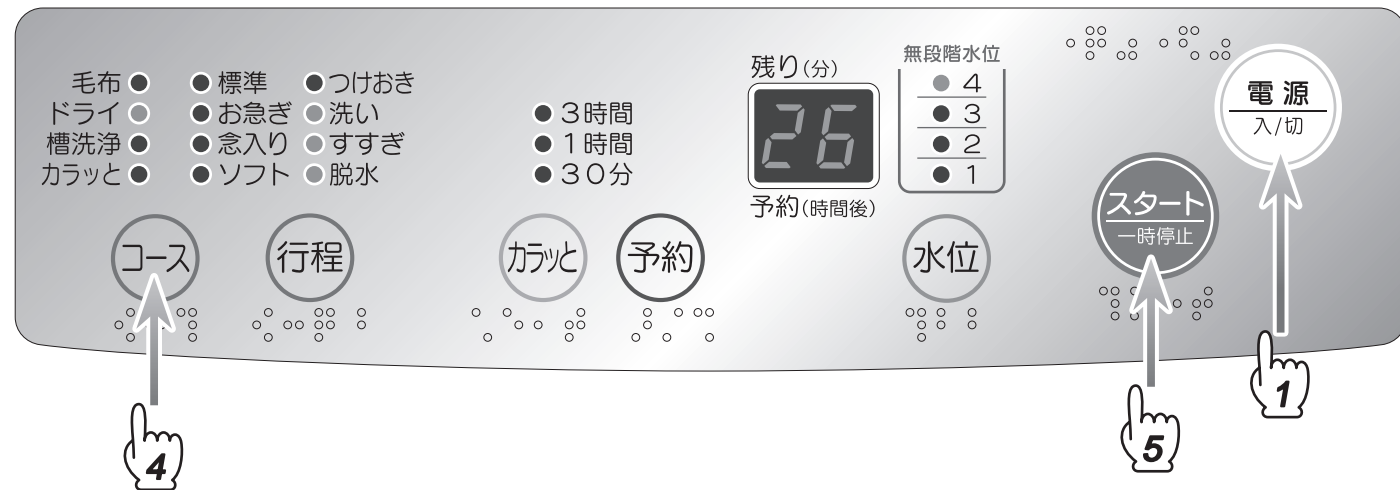
- 漂白剤は、強アルカリ性のため衣類を傷めます。

洗濯前の準備

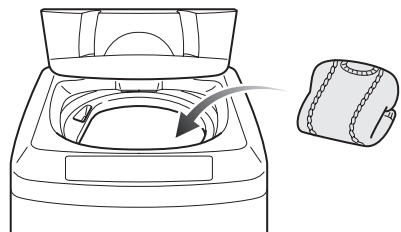
- シミがあるときは裏側にタオルをあて洗剤をつけてタオルなどで軽く押さえます。
- 汚れやすいえり、袖口などは洗剤をつけてブラシなどで軽くたたいて落としておきます。
- ボタンやししゅうの付いている衣類は裏返します。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 色落ちしそうな衣類は、白いタオルなどに洗剤を含ませ、目立たないところに押し当てて確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

洗濯のしかた（つづき）

ドライコース　つづき

1　水栓を開き、を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2　ふたを開け、洗濯物を入れる

- 洗濯物はたたんで入れてください。
- 布傷みが気になる場合は、市販の目の粗い洗濯ネットに入れてください。

3　ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

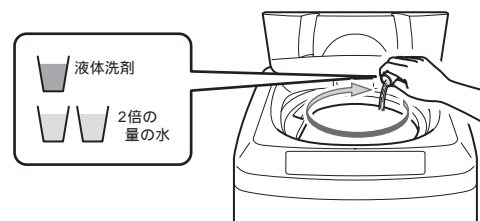
- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。

4　コース を押して『ドライ』を選ぶ

5　を押す

- 運転を開始します。

6　給水が始まったら液体洗剤を入れふたを閉める

- 洗剤はドライマーク衣類専用の液体洗剤を2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。P9 参照

7　運転終了

- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

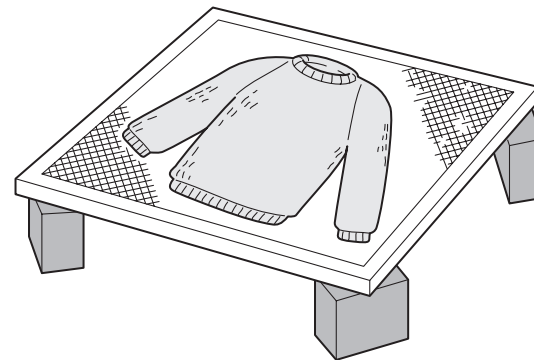
お願い

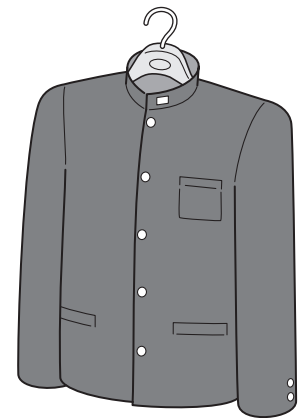
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

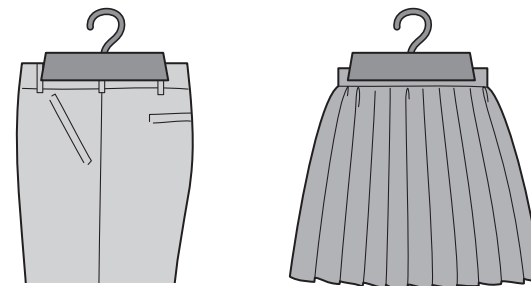
洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

干しかた　※必ず、風通しの良い日陰に干してください。

ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーター

- 形を整えて裏返し、平干しをしてください。

学生服、ブラウスなど

- 形を整えて、ハンガー干しをしてください。
- ハンガーにタオルを巻いて、肩幅にあせてお使いいただくと型くずれしにくくなります。

スラックス、スカート

- 形を整えて、ハンガー干しをしてください。伸びやすいものは平干しをしてください。

お願い

衣類乾燥機を使用する場合は、おしゃれ着乾燥のできるものをご使用ください。

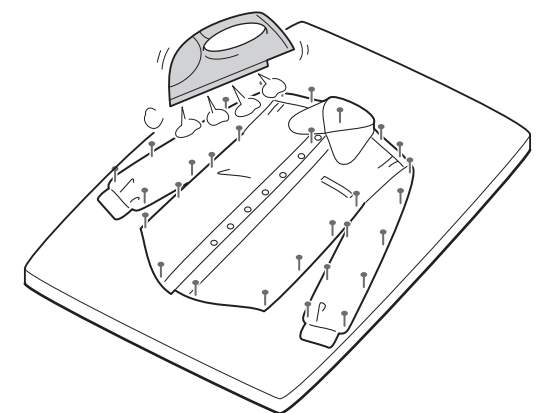
仕上げかた

スチームアイロンで形を整える

- スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをかけ、形を整えます。

縮んでしまったときは…

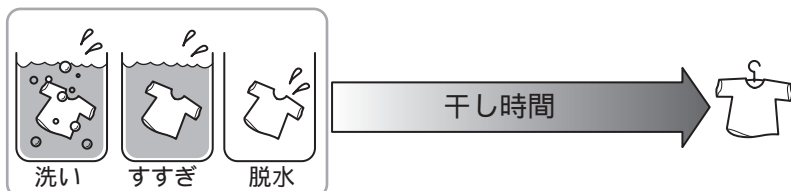
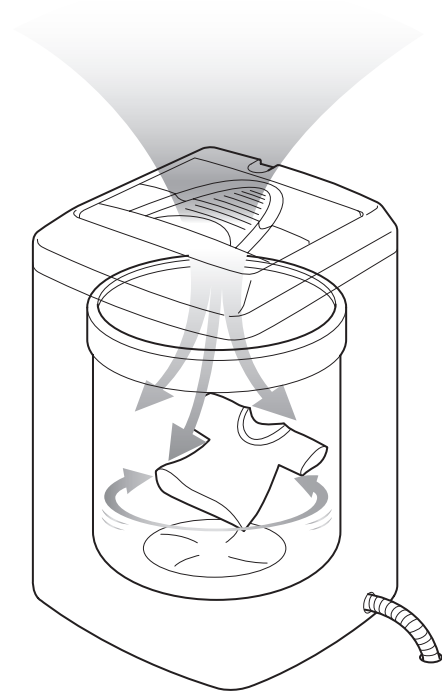
- 衣類を伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打ち、スチームアイロンを浮かせた状態でスチームをたっぷりかけ、そのままの状態で乾燥させます。

※洗濯前に型紙を取っておくと便利です。

カラッと脱水

「カラッと脱水」とはヒーターを使わず、脱水槽を高速回転させ、遠心力と通風口から取り込んだ空気で衣類の水分を飛ばす機能です。
室内干しなどの乾燥時間を短縮することができるので、夜干しで朝乾くなど、便利にお使いいただけます。
また、途中で洗濯物をほぐすためにかくはんを行います。

室内干しなどの乾燥時間の短縮

- ジメジメ時間が短いため、部屋干し特有のイヤな臭いを抑えられます。
- 脱水前と比べて、30分運転で水分を約58%、1時間で約60%、3時間で約65%カットできます。（化繊2kgの場合）

■普通の洗濯

■カラッと脱水した場合

- 梅雨時などの乾きにくいとき
- 夜しか洗濯できない
- 干し時間が短いため紫外線による衣類のダメージも少ない

熱に弱いデリケートな衣類の脱水

熱を使わずに乾かすため、下着や水着、化繊のブラウス等熱に弱い衣類も安心です。

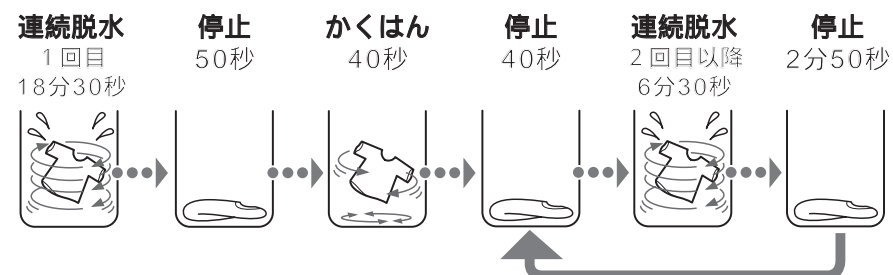
- 下着や水着など外に干したくない

洗濯槽の黒カビ抑制

日常のお洗濯で「カラッと脱水」を利用すると槽内も乾燥でき黒カビの発生を抑えます。

- ２ヶ月に一度のお手入れが楽

カラッと脱水の動作

「カラッと脱水」運転は右図の動作を繰り返します。

カラッと脱水の前に

- タイマー式脱水ですので、乾きぐあいに関係なく終了します。衣類の量・種類・気温・湿度・季節・据え付け場所により乾きぐあいが異なることがあります。

⚠注意

マット類は脱水しない

●マットが洗濯・脱水槽に付着したり、衣類を汚すことがあります。また、素材によっては化学変化により自然発火するおそれがあります。

防水性のマット・シートや衣類、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・カラッと脱水をしない

●洗濯物が飛び出したり、異常振動で洗濯機が転倒してけがをしたり、洗濯機・かべ・床などの破損、衣類の損傷などのおそれがあります。洗濯物の絵表示を見て洗濯時の参考にしてください。

（足拭きマットなど固くて厚いもの、オムツカバー、サウナスーツ、ウエットスーツ、雨ガッパ、スキーウエア、自転車・バイク・自動車カバー、寝袋など）

カラッと脱水してはいけないもの

色落ちしやすいもの

- 長時間かけてかくはんするので、他の衣類に色が移ります。

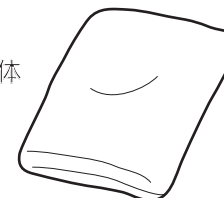
型くずれしやすいもの

- 絹や皮製品などは縮んだり、型くずれをおこすことがあります。

しわが気になるもの

- ブラウスや綿100%シャツなど

掛け布団、毛布など

- 衣類が傷んだり、洗濯機本体の故障の原因になります。

吊り干し、平干し、ドライ絵表示のあるもの

手洗イ

防水性のもの

- 衣類が傷んだり、洗濯機の故障の原因になります。

（スキーウェア、カッパ、等）

お願い

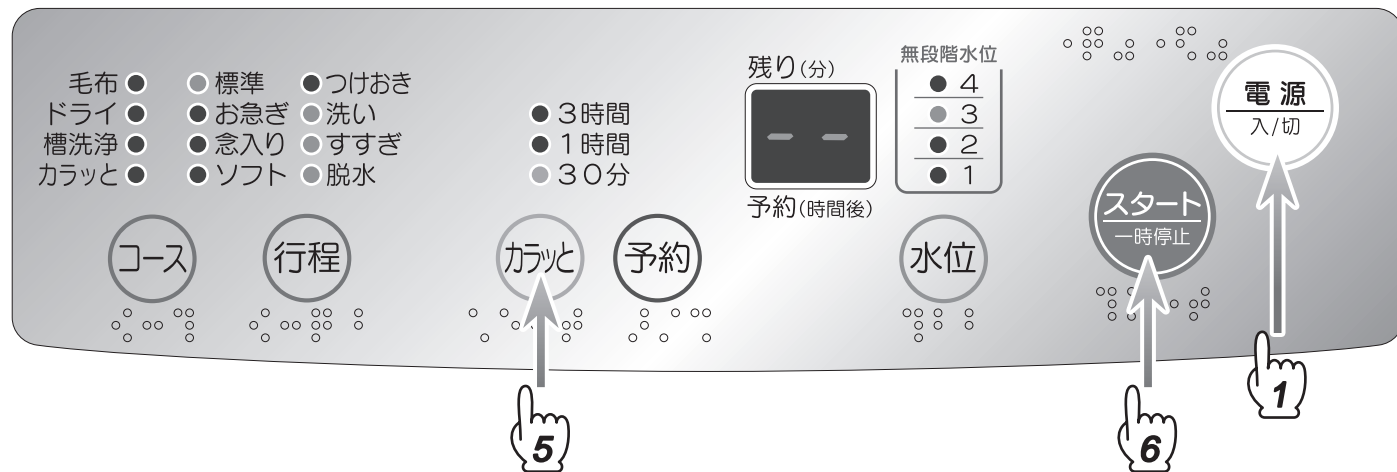
脱水前に衣類の材質表示をよく確認してください。

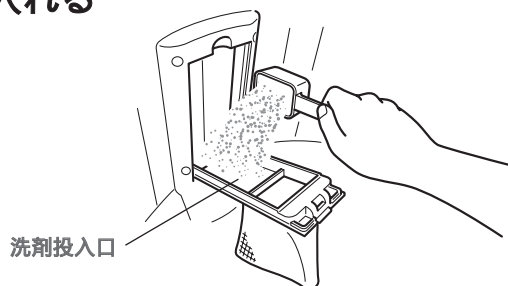
- 「カラッと脱水」機能は高速回転の時間が長いことと、かくはんして布をほぐすことからここに記載した衣類は「カラッと脱水」に向いていません。

標準+カラッと脱水コース

お洗濯の後に
カラッと脱水をプラスしたい。

■「標準コース（洗濯・すすぎ・脱水）」を行ったあとに自動的に「カラッと脱水」運転を行います。（洗濯・脱水容量 ～2.0kg まで）

■「カラッと脱水」を選択すると自動的に「標準コース」になります。他のコースは選べません。

1 水栓を開き、（電源 入/切）を押す
- 水栓はゆっくり開いてください。

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

- 液体洗剤を使う場合は、2倍の量の水で薄め、洗いの給水が始まってから、洗濯・脱水槽に少しずつ流し込んでください。P9 参照

3 洗濯物を入れる

4 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）
- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。P9 参照

5 （カラッと）を押して時間を選ぶ

6 ふたを閉め を押す
- 運転を開始します。
- 布量を自動検知して、水位（洗剤量の目安）を自動的に表示します。（水位1は、手動で設定してください。）

7 運転終了
- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

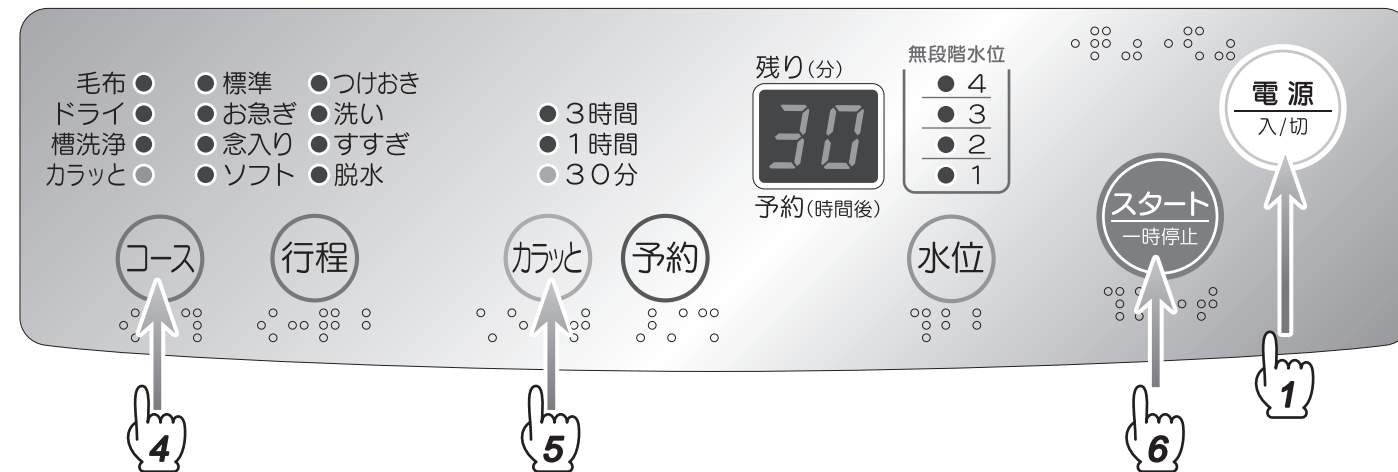
お願い

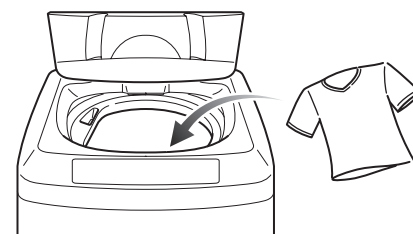
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。
- 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

カラッと脱水コース

お洗濯は済んでるけど、
カラッと脱水だけしたい。

■「カラッと脱水」運転のみを行います。
（脱水容量 ～2.0kg まで）

1 （電源 入/切）を押す
- 水栓を開く必要はありません。

2 上ぶたを開け、洗濯したものを入れる
- 洗濯～すすぎ～脱水まで終了しているものを入れてください。

3 上ぶたを閉める

4 （コース）を押して『カラッと』を選ぶ
- 「カラッと脱水」コースを選択すると、予約タイマー運転はできません。

5 （カラッと）を押して時間を選ぶ

6 を押す
- 運転を開始します。

7 運転終了
- 脱水の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

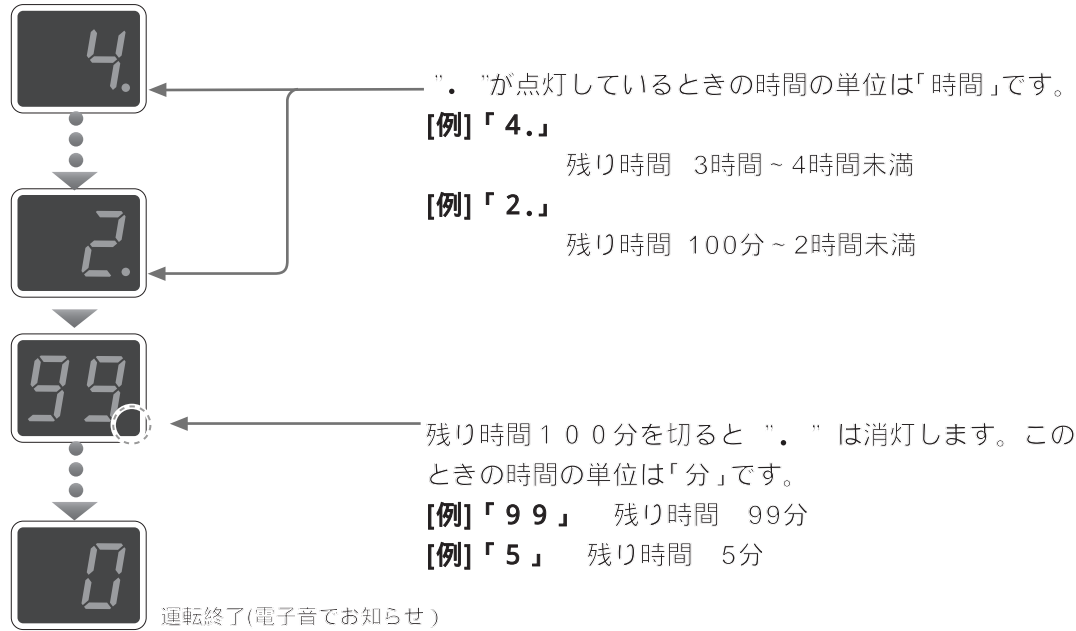
お願い

脱水終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。
- 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

洗濯のしかた（つづき）

デジタル表示について

運転終了までの残り時間を表示します。数字の右下の”．”が点灯しているときの時間の単位は「時間」を表し、消灯しているときの時間の単位は「分」を表します。

[例]「標準」（標準時間48分）＋「カラッと脱水」3時間の場合
トータル3時間48分

上手な脱水のしかた

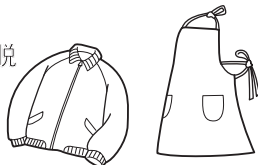
洗濯物は少なめで脱水させる

● 標準脱水容量（2.0kg）の7割～8割程度で脱水してください。風の通りがよくなり、効率よく脱水することができます。

1枚ずつ、よくほぐしてから入れる

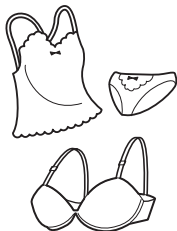
● 乾きムラが少なくなります。

ひもは結び、ファスナーやボタンなどは閉じて裏返す

● 布傷み、布がらみ、洗濯・脱水槽内の傷を防ぎます。

厚物と薄物は分けて脱水する

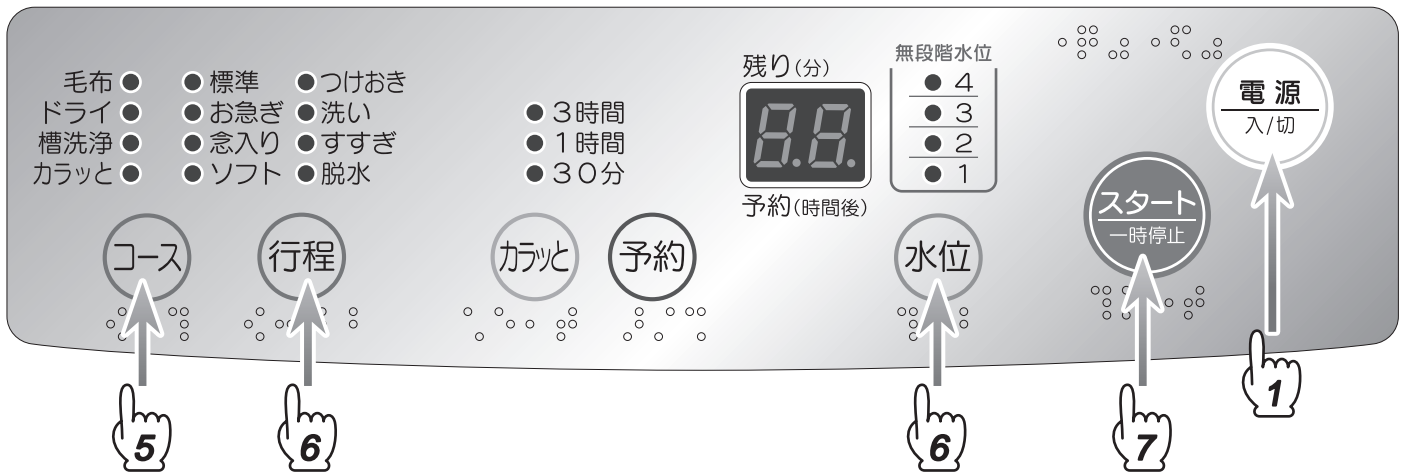
● 乾きムラが少なくなります。

傷みやすい衣類は、市販のネットを利用する

● 薄い化繊やレース、ストッキングやホック付きのブラジャーなどの衣類は、市販のネットに入れると布傷みを少なくできます。

静電気を少なくするには･･･

● 洗濯のときにソフト仕上げ剤を使うと、静電気が起こりにくくなります。

お好み設定

行　　程	こんなときに…
洗いのみ	洗濯液を2度使いたいときに…
洗い・すすぎ	シワが気になる衣類など脱水したくないときに…
すすぎ・脱水	洗濯液を2度使った後などに…
脱水のみ	干す前に脱水したいとき、槽の水を排水したいときに…
つけおき・洗い・すすぎ・脱水	つけおきしてから洗いたいときに…

1 水栓を開き、電源(入/切)を押す

● 水栓はゆっくり開いてください。

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

3 洗濯物を入れる

4 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

● ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。 P9 参照

5 コースを押して『標準』または『念入り』または『ソフト』を選ぶ

● ソフトコースを選択した場合は「つけおき」の設定はできません。

6 お好みで行程 水位を押して、行程内容を設定する

7 ふたを閉め スタート(一時停止)を押す

● 運転を開始します。

8 運転終了

● 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

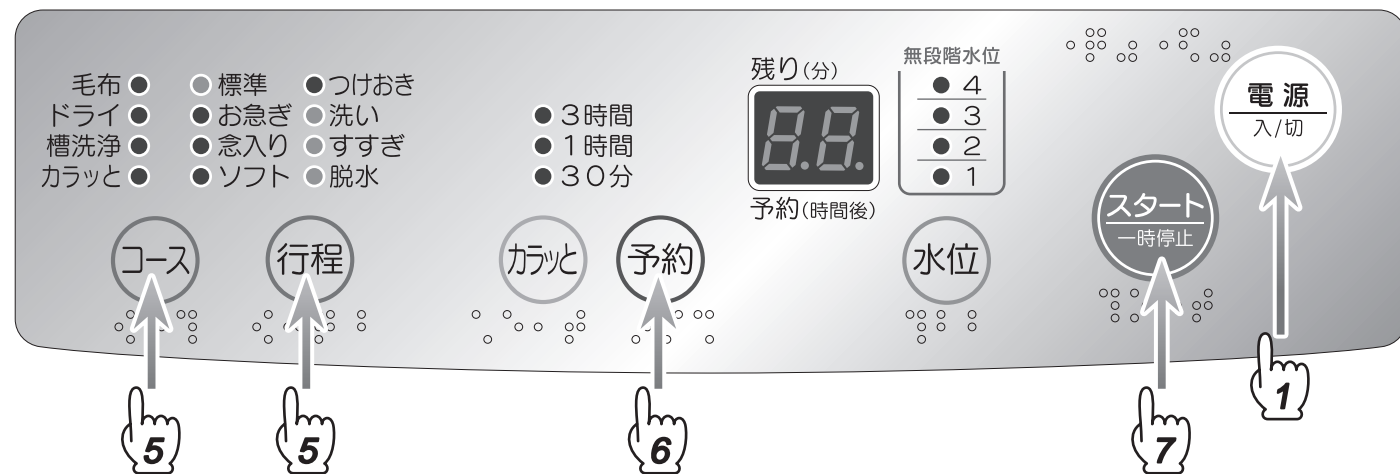
洗濯終了後は、必ず水栓を閉めてください。

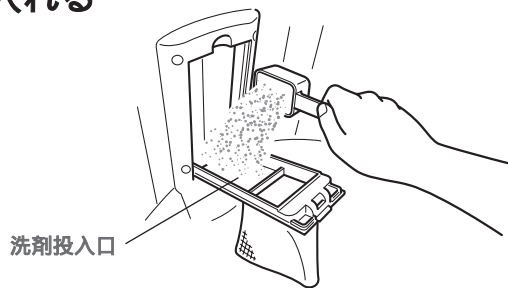
● 万一の水もれを防止するためです。

洗濯終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

● 長時間放置すると、シワになったり縮んだりすることがあります。

予約洗濯

予約タイマー運転

1 水栓を開き、電源(入/切)を押す

- 水栓はゆっくり開いてください。

2 ふたを開け、洗剤投入口に洗剤を入れる

3 洗濯物を入れる

4 ソフト仕上げ剤を入れる（ソフト仕上げ剤を使う場合のみ）

- ソフト仕上げ剤投入口が入れにくい場所にあるときは洗濯・脱水槽を右に回して入れやすい場所に移動させてください。 P9 参照

5 コース・行程を設定する

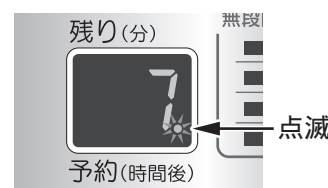
P11～26 参照

6 予約を押して、洗濯終了時間をセットする

- 押すごとに1時間単位で、2～24時間後までの設定ができます。

7 ふたを閉め を押す

- 予約タイマー運転が開始され、"．"が点滅し、設定したコース・行程が消灯します。

例）7時間後にセットした場合

8 運転終了

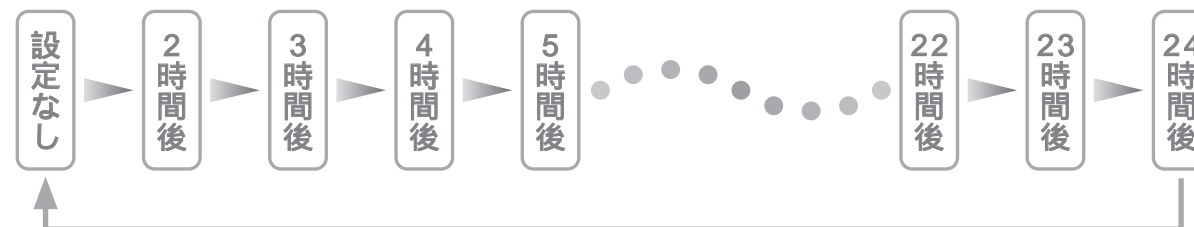
- 洗濯の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

ご注意

槽洗浄・カラッと脱水のみコースは、予約タイマーの設定はできません。

洗濯終了までの時間を、２～２４時間後の範囲でセットできます。
睡眠前に予約タイマーをセットしておけば、朝の忙しい時間を有効に活用することができます。

予約タイマーの時間設定について

予約を押すごとに1時間単位で、2～24時間後までの設定ができます。

セットした内容を…

確認するには？

- 予約タイマー運転中に『予約』ボタンを押します。約5秒間セットしたコース・行程が表示されます。

取り消すには？

- 『電源』ボタンを押して、電源を切ってください。

変更するには？

- 電源を入れ直して、もう一度セットし直してください。

お願い

色移りしやすい衣類は、一緒に洗濯しないでください。

電源プラグを抜いたときや停電したときは、予約タイマー運転は取り消されます。

濃縮タイプのソフト仕上げ剤は、2倍の量の水で薄めてから使用してください。
また、ソフト仕上げ剤を長時間（約12時間以上）入れたままにしないでください。

- 固まってしまうことがあります。

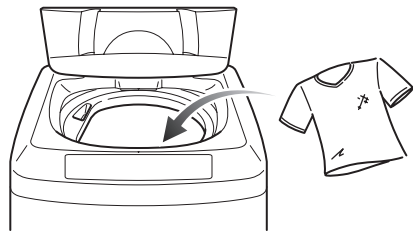
予約タイマー運転には、粉石けんを使わないでください。

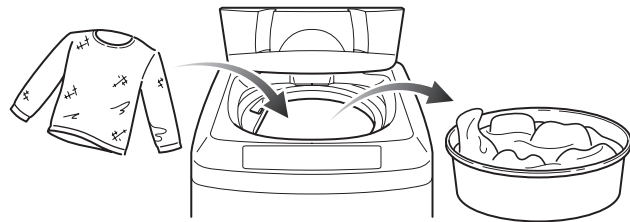
- 溶けにくく、固まることがあります。

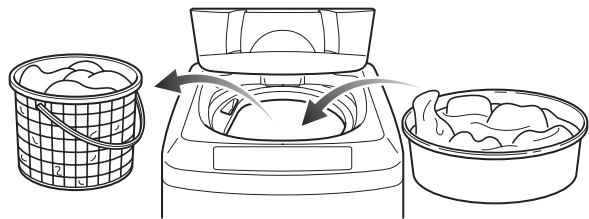
上手なお洗濯

洗濯液を2度使う

1 1度目の洗濯物を入れて、『洗い』のみの運転を行う P26 参照

- 1度目の洗濯物は汚れの少ないものを洗い、汚れのひどいものは2度目に洗いましょう。

2 1度目の洗濯物を取り出し、2度目の洗濯物を入れる

- 洗濯物が浮かないように、上から押さえてください。
- 必要に応じて、洗剤を追加してください。

3 お好みのコースで自動運転をする P11～26 参照

4 2度目の洗濯物を取り出し、1度目の洗濯物を入れる

5 『すすぎ』『脱水』の運転を行う P26 参照

風呂の残り湯を使う

1 電源を入れ、洗濯物を入れる

2 コース・行程を選択し スタート 一時停止 を押す P11～26 参照

3 給水が始まったら スタート 一時停止 を押して一時停止し、風呂の残り湯を入れる

- 市販の風呂水用ポンプをお使いいただくと、便利です。

4 を押し、運転を再開する

のりづけ のりづけできる量：0.5kg以下

1 電源を入れ、洗濯物を入れる

2 『洗い』のみ『水位1』に設定する P26 参照

3 上ぶたを閉め を押す

4 パルセーターが回り始めたら、上ぶたを開け洗濯のりを入れる

- のりの量は、洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

5 運転が終了したら『脱水』のみの運転を行う P26 参照

ご注意

のりづけ後は、『水位4』にて洗いの運転を行い洗濯・脱水槽を洗浄してください。

- のりが残っていると、故障の原因になります。

お手入れ

お手入れのしかた

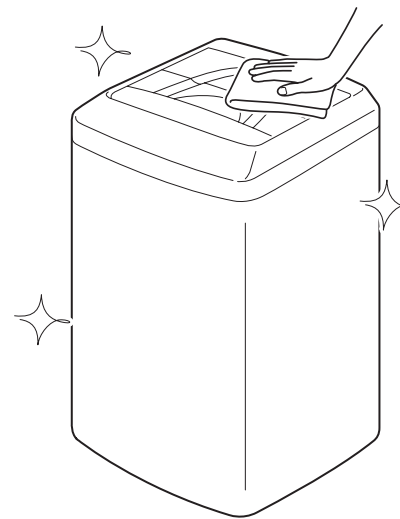
揮発性のものは使わない

揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）を使用すると、変形や割れが発生することがあります。

⚠警告 お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●感電するおそれがあります。

本体

よく絞ったやわらかい布で拭く

- 汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭き取ってください。中性洗剤を使用した後はよく水拭きをし、さらに乾いた布で拭いてください。

水ぬれ禁止

直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。

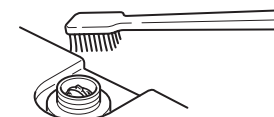
- ショート・感電のおそれがあります。

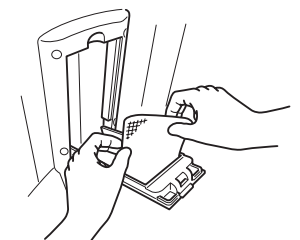
ご注意

化学ぞうきんをご使用の場合は、その注意書に従ってください。

給水口

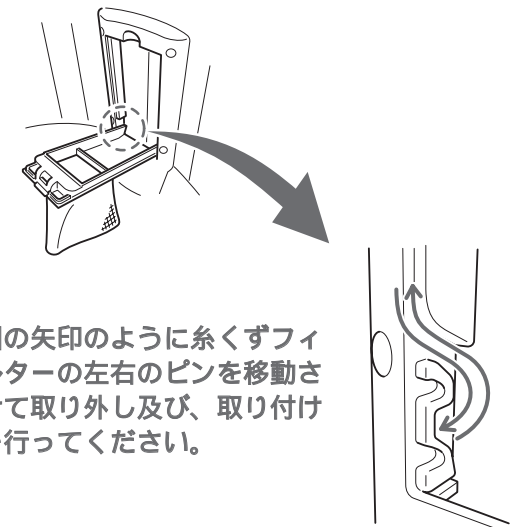
歯ブラシなどで汚れを取り除く

- 給水口にゴミがたまると水の出方が悪くなります。最低でも年に1度は、給水ホースを外し、給水口にたまったゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

糸くずフィルター

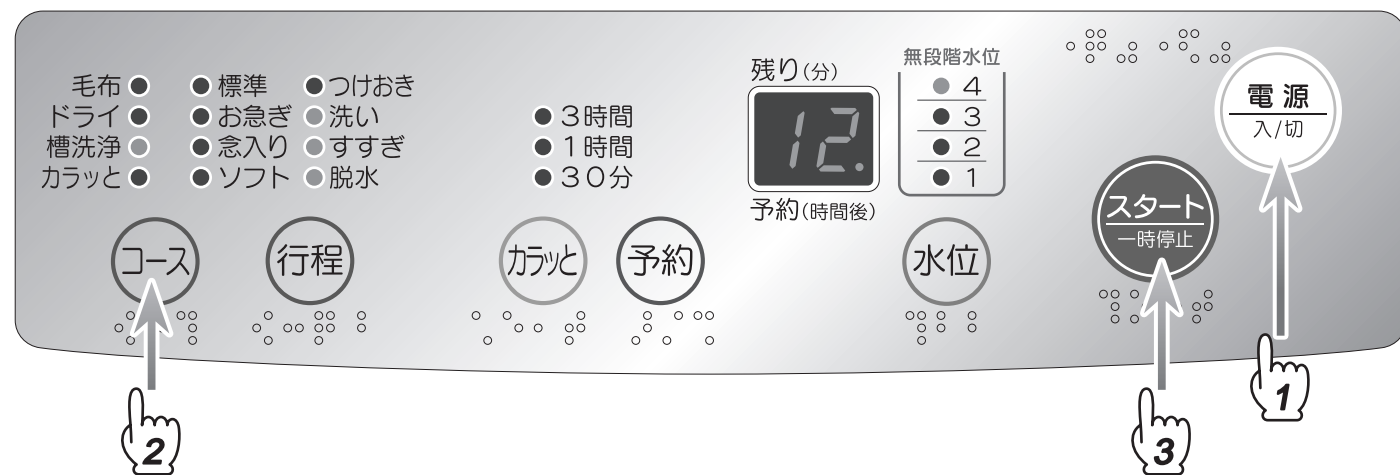
裏返してゴミを取り除く

別売部品

糸くずフィルター（洗剤投入口付き）
希望小売価格　1個 630円（税込）

ご購入は、お買上げの販売店、または別紙「お客様修理ご相談窓口」記載の各修理相談窓口へお問い合わせください。

■ 糸くずフィルターの交換方法

図の矢印のように糸くずフィルターの左右のピンを移動させて取り外し及び、取り付けを行ってください。

槽洗浄コース

長期間の使用により洗濯・脱水槽に汚れや黒カビが発生することがあります。2ヶ月に1度（粉石けんを使用している場合は、1ヶ月に1度）を目安に槽洗浄を行ってください。

1 水栓を開き、電源（入/切）を押す

2 コースを押して、『槽洗浄』を選ぶ

3 スタート（一時停止）を押す

4 パルセーターが回り始めたら市販の塩素系漂白剤を約200ml入れる
- 通常の洗濯洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。
- 衣類は入れないでください。
- 上ぶたは必ず閉めてください。

5 運転終了
- 槽洗浄の終了を電子音でお知らせし、自動的に電源が切れます。

お願い

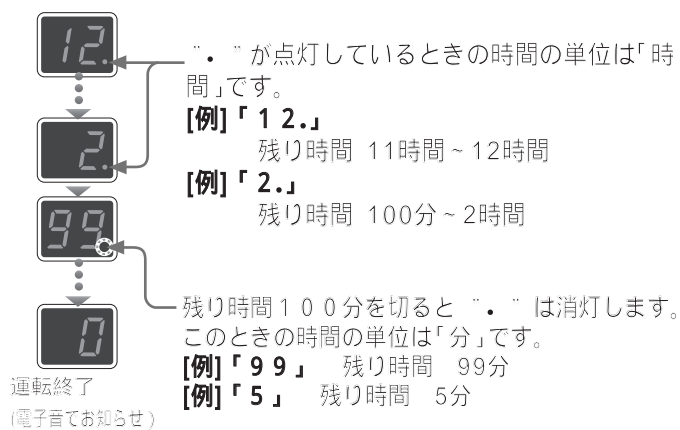
連続して槽洗浄運転を行わないでください。

汚れのひどい場合や黒カビが発生してしまった場合は、市販の洗濯槽クリーナーをご使用ください。
- 洗濯槽クリーナーの説明書に従ってご使用ください。

デジタル表示について

終了までの残り時間を表示します。数字の右下の"．"が点灯しているときの時間の単位は「時間」を表し、消灯しているときの時間の単位は「分」を表します。

"．"が点灯しているときの時間の単位は「時間」です。
[例]「12.」
→残り時間 11時間～12時間
[例]「2.」
→残り時間 100分～2時間

残り時間100分を切ると"．"は消灯します。このときの時間の単位は「分」です。
[例]「99」→残り時間　99分
[例]「5」→残り時間　5分

ステンレス槽のさびは…

市販のクリームクレンザーをスポンジにつけて、さびを取り除いてください。
- 金属たわしなどは使用しないでください。洗濯・脱水槽を傷つけ、さびやすくなります。

さびの発生を防ぐために…
- ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯・脱水槽に入れたままにしない。
- 赤さびや鉄粉などの混じった水を入れない。特に、断水後はご注意ください。

電源コード・プラグの安全点検

- 電源コードに亀裂や、すり傷がありませんか？
- 電源プラグがコンセントに根本まで確実に差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃及び刃の取付け面にホコリが付着していませんか？

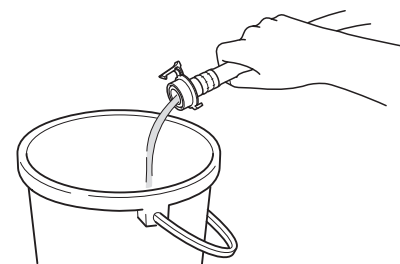
凍結のおそれがあるときは

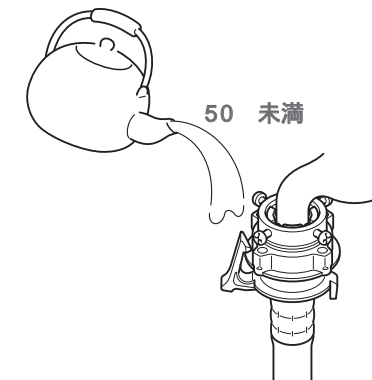
冬場、凍結させないために…

1 水栓を閉める

2『洗い』の運転を行い、給水ホースの水を抜く
- 10秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3『脱水』の運転を行い、洗濯・脱水槽の残水を排水する

4 給水ホースの水栓蛇口側を外して、ホース内の残水をバケツなどに排水する

凍結してしまったときは…

1 給水ホースの接続部（水栓側と本体側）に50℃未満の温水をかける
- 床が濡れて困る場合は、蒸しタオルで包んでください。

2 給水ホースを外し、50℃未満の温水につける
- 水が飛び散る場合がありますので、タオルなどをあてて外してください。

3 50℃未満の温水を約1ℓ、洗濯・脱水槽に入れ、10分間放置する

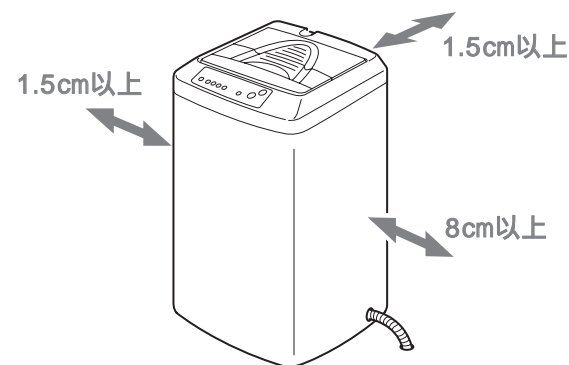
4 給水ホースを接続し、水栓を開けて運転し、給水と排水できるか確認する

据え付け

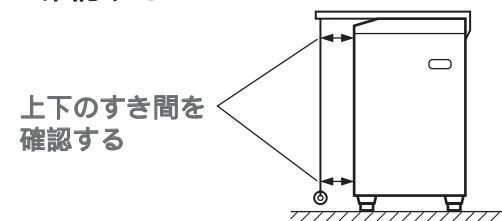
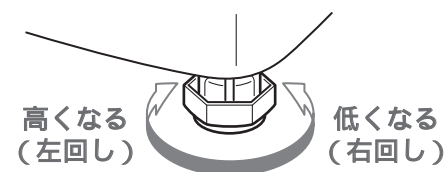
お願い
- 据え付け前は、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 給水ホース、マジックつぎ手は、必ず付属品または当社専用のものを使用してください。
- 据え付け後は、必ず試運転を行い、水もれや異常音が発生しないか確認してください。

据え付けについて

据え付け場所

- 床が丈夫で水平なところ
- 湿気の少ないところ
  浴室には絶対に据え付けないでください。
- 冬期に凍結のおそれのないところ
- 給水・排水の便利なところ
- 雨、直射日光の当たらないところ

本体は排水ホース側を壁から8cm以上、反対側および裏側は壁から1.5cm以上離してください。異常な振動や音を防ぐためです。

水平に設置

1. 水準器またはおもり（5円玉など）をつけた糸を図のように下げて、水平度を確認する

2. 水平でないときは、前側2ヶ所の高さ調整脚を回して調整する

3. 洗濯機の対角を押さえて、がたつきがないか確認する

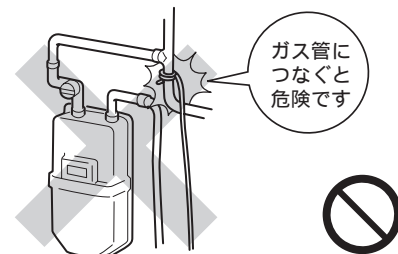
アースについて

⚠警告 必ず、アースをしてください
●故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

■アース工事について
- 安全にご使用いただくため、D種（第3種）接地工事が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。（接地工事は電気工事士の資格が必要です。）

■コンセントに
アース端子があるとき

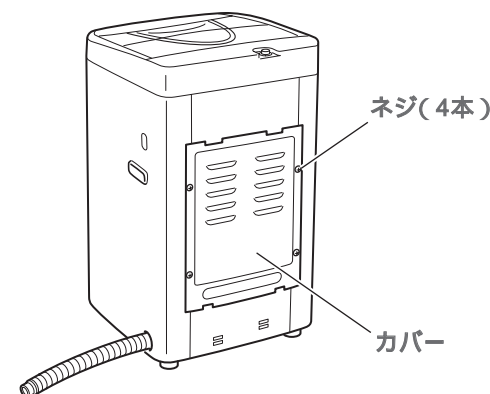
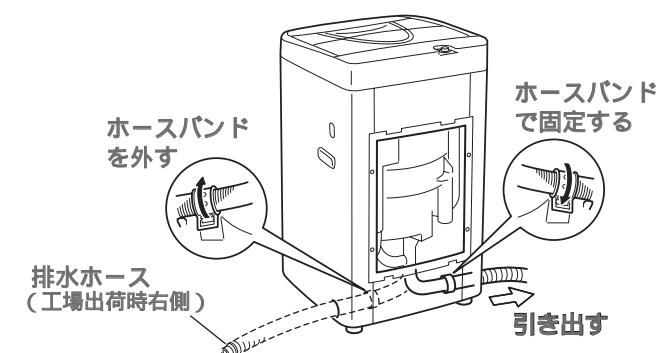
アースの先端を確実に
アース端子に接続してください。

次の場所には、アース線を接続しないでください。
- ガス管……爆発や引火の危険性があります。
- 水道管……プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針・電話のアース線
  ……落雷のときに大電流が流れ危険です。

排水ホース

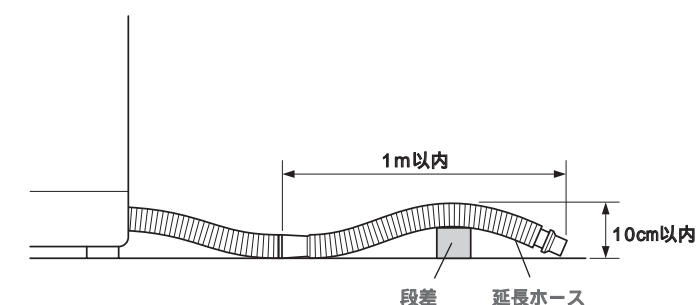
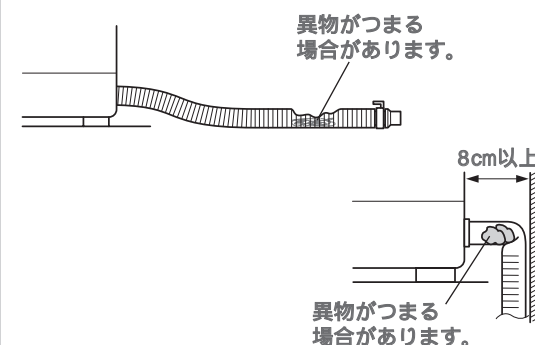
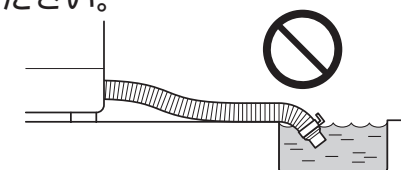
付け換え

- 工場出荷時は排水ホースが右側にセットされています。
  左側に付け換える場合は、下記手順で付け換えてください。

警告 排水ホースの付け換えは、必ず手袋をしてください。
●けがをするおそれがあります。

1. 背面についているネジ4本を外し、カバーを取り外す
   - 鉄板で手を切らないように、注意してください。

2. ホースバンドを外して排水ホースを付け換える
   - 付け換え後、必ずホースバンドで固定してください。

ホースを延長する場合

- お買い上げの販売店にて「排水ホース延長キット」をご購入ください。
- 排水ホースの長さ、敷居を越える場合の高さは下表に従ってください。

ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	１０cm以内	１m以内
途中で高くならない場合	－	３m以内

ご注意
ホースをつぶさないようにしてください。

ホースの先が下水口の水につからないようにしてください。

ホースのこすれに注意してください。

給水ホース

水栓について

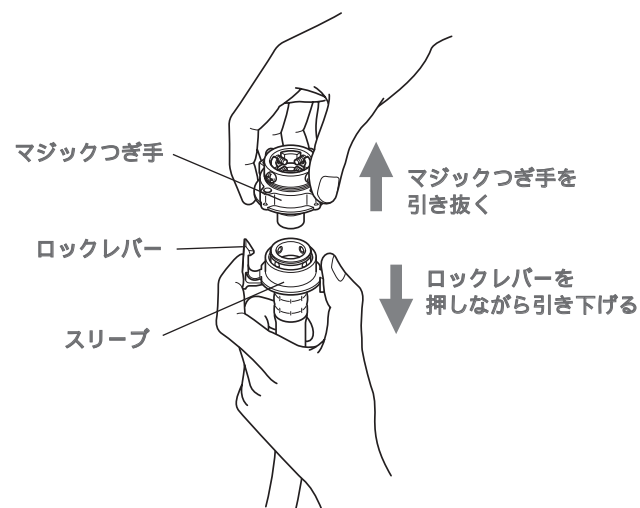
横水栓が適しています

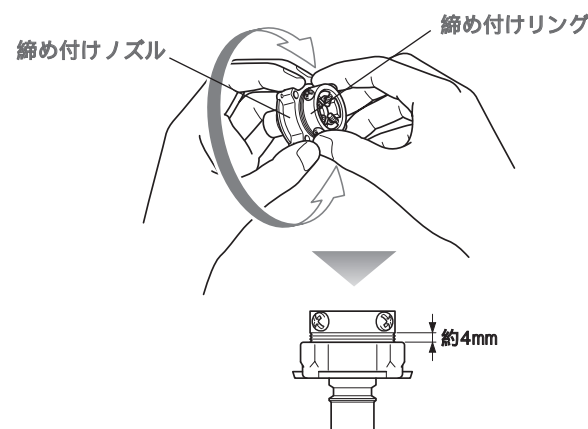
お願い

- 給湯機設備には取り付けないでください。
- 水栓が合わない場合は、販売店または「三洋電機サービス株式会社のサービス部門」またはハイアールジャパンセールス株式会社へご相談ください。
- 洗濯機専用水栓の設置には、別売の「分岐水栓」の利用をおすすめします。

マジックつぎ手の取り付け方

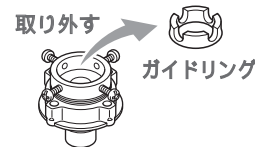
1 スリーブを引き下げ、マジックつぎ手を外す

- ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げ、マジックつぎ手を外してください。

2 すき間を約4mmにする

- 締め付けノズルを回して、締め付けリングと締め付けノズルのすき間を約4mmにしてください。

3 ネジ（4本）をゆるめ、蛇口に押し付ける

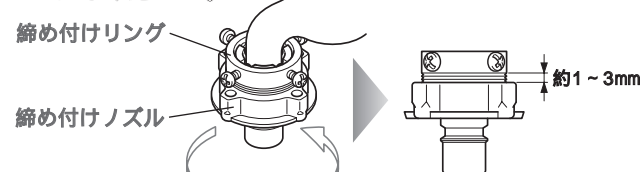
- マジックつぎ手のネジ4本をゆるめて、蛇口に垂直に押し付けてください。

蛇口の口径が、17mm以上の場合

- ネジ（4本）をいっぱいにゆるめて、ガイドリングを取り外してください。

4 ネジ（4本）を均等に締め付ける

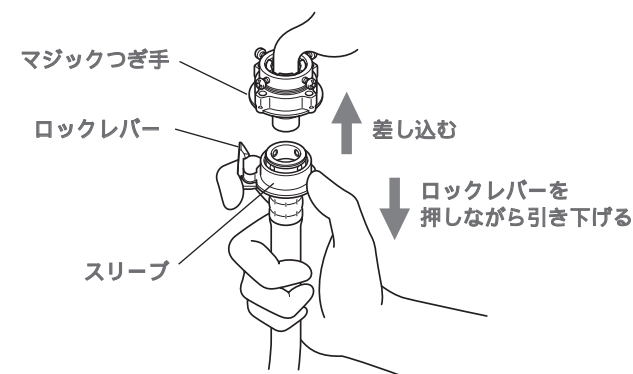
- 蛇口が中心になるように、ネジを均等にしっかり締め付けてください。

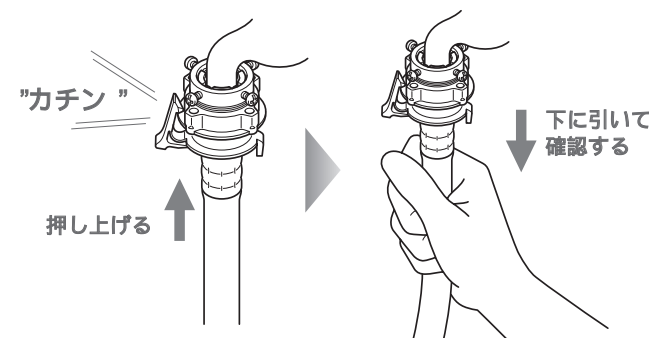
5 締め付けノズルを矢印の方向に回し、しっかり締め付ける

- 締め付け後、締め付けリングと締め付けノズルのすき間が約1～3mmになっていることを確認してください。

※締めつけることによってマジックつぎ手内のゴムパッキンと蛇口の先端が密着し、水漏れを防止します。

給水ホースの取り付け方

1 スリーブを引き下げ、マジックつぎ手に差し込む

- ロックレバーを押しながらスリーブを引き下げ、マジックつぎ手に差し込んでください。

2 スリーブを離して "カチン" と音がするまで押し上げる

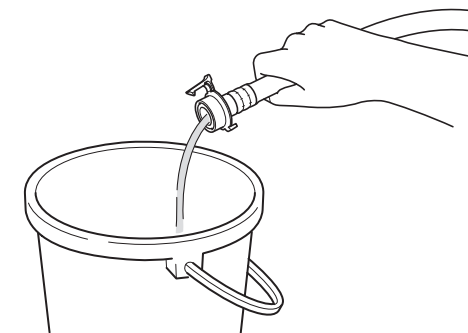
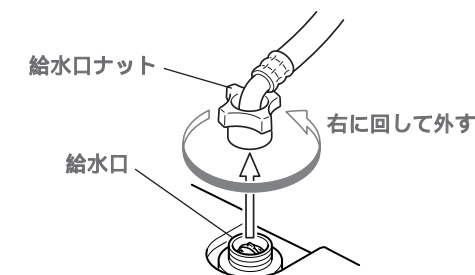
- 取り付け後、給水ホースを下に引いて、確実に取り付けられているか確認してください。

3 給水ナットを給水口にしっかり締め付ける

給水ホースの外し方

1 水栓を閉める

2 『洗い』の運転を約10秒間行う

- 給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぐためです。

3 給水ホースの水栓（蛇口）側を外して、ホース内の水をバケツなどに排水する

4 給水ナットの本体側を外す

給水ホースの延長は、別売の延長ホースをご使用ください。

お願い

- 取り付け後、必ず水漏れがないか確認してください。水漏れするときは、始めからやり直してください。
- 転居などによりマジックつぎ手を取り付け直す場合は、必ずすき間を約4mmに調節してから（手順2）、取り付けてください。水漏れの原因になります。
- 長期間の使用により水漏れした場合は、もう一度始めから取り付け直してください。それでも不具合のある場合は、マジックつぎ手を交換してください。

故障かなと思ったら

以下の点をお調べになり、それでも具合の悪いときは、お買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	エラー表示	おたしかめください（原因）
給水しない	E4	● 水栓を開いていますか？ ● 給水ホース接続口の網にゴミなどが詰まっていませんか？ ● 凍結していませんか？ ● 断水していませんか？ ● 水道水圧が低くありませんか？
運転しない		● 電源プラグをコンセントにしっかりと差込んでいますか？ ● 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？ ● 停電ではありませんか？ ● 電源スイッチを入れていますか？ ● スタート／一時停止ボタンは押しましたか？
途中で止まる	E2	● 上ぶたが閉まっていますか？
排水しない	E1	● 排水ホースを本体から倒していますか？ ● 排水ホースがつぶれていませんか？ ● 排水の位置が高くなっていませんか？ ● 排水ホースの口がふさがれていませんか？ ● 排水ホースの先端が水につかっていませんか？
脱水しない	E3	● 洗濯物が片寄っていませんか？ ● 洗濯・脱水槽の排水口に異物が詰まっていませんか？
水もれ		● 水栓の形状は適していますか？ ● マジックつぎ手のネジやノズルがゆるんでいませんか？ ● 給水口ナットの締め付けがゆるんでいませんか？ ● 給水口にゴミがつまっていませんか？ ● 排水ホースがはずれていませんか？
異常音がする 振動が大きい		● 洗濯機の据え付けが傾いていたり、がたついたりしていませんか？ ● マッチ棒やヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか？ ● 電源コードやアース線、給水ホースのたるみが洗濯機に当っていませんか？ 脱水の振動で音が大きくなることがあります。
「カラッと脱水」時 洗濯物に ムラができる		● 洗濯物の量が多すぎませんか？ 量が多いとうまくかくはんできず、ムラになります。 ● 洗濯物の量が極端に少なすぎませんか？ 量が極端に少ない（0.5kg未満）と洗濯・脱水槽にはりつきうまくかくはんできず、ムラになります。

下記のような場合は故障ではありませんので、ご注意ください。

初めて使用するときに 排水ホースから水が出る	● 工場の性能テスト時の残水です。
操作パネル部に ぬくもりを感じる	● 電源を「切」にしても、内部のマイコン部で数Wの電力を消費しているため、あたたかくなることがあります。
間欠的に脱水する	● 脱水を効果的に行うためのものです。
脱水の途中で すすぎになる	● 洗濯物が片寄っているためです。給水して片寄りを修正し、再び脱水を行います。 それでも片寄りが直らない場合は運転を停止します。
運転の途中で止まっている	● 運転切換えのために止まっていることがあります。
運転切換え時に音がする	● 洗いや脱水、給水、排水等の切換え音です。

アフターサービスについて

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げ日から本体1年間

（ただし、糸くずフィルターは消耗品ですので、保証期間内でも有料とさせていただきます。）

修理を依頼されるとき

37ページの表に従ってご確認してください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。なお、衣服の補償など、製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、洗濯機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。（注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料･部品代･出張料などで構成されています。

技術料	診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理･お取り扱いなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

修理のご相談は…
転居や贈答品などでお困りの場合は…

お近くの
「三洋電機サービス株式会社」の
コールセンターまたは修理相談窓口へ

東コールセンター
東京　TEL：03-5302-3401

西コールセンター
大阪　TEL：06-4250-8400

月曜日～金曜日　午前9時～午後6時30分
土曜・日曜・祝日　午前9時～午後5時30分

※当社は三洋電機サービス株式会社のサービス部門と業務提携しております。よって当社製品の修理は三洋電機サービス株式会社の全国各サービス窓口にて行います。お電話をおかけの際は、番号をよくお確かめください。

その他のお問い合せは…

ハイアールジャパンセールス株式会社の
お客様相談窓口へ

TEL：0120-865-812（ハローハイアール）
FAX：06-6994-7155
月曜日～金曜日（祝日･休日は除く）
午前9時～午後5時

愛情点検　★長年ご使用の『洗濯機』の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深いキズや変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 運転中に異常な音や振動がする
- 洗濯機に触れるとビリビリ電気を感じる
- その他異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。